

札幌市思春期・若年期の女性を対象とした
意識に関する調査
報告書

令和3年3月

札幌市子ども未来局

目次

1	調査の目的	1
2	調査内容等	1
3	調査実施	1
4	回収状況	2
5	主要な結果	3
6	調査結果（詳細）	
A.	調査協力者の概要	4
B.	これまでの体験や周囲の状況について	13
C.	相談窓口について	46
D.	補足分析	50
E.	自由記述の分析	52

資料編

資料1	アンケート調査票（19歳～24歳用）	資-1
資料2	アンケート調査票（高等学校・高等支援学校用）	資-12
資料3	アンケート協力依頼チラシ（高等学校用）	資-23
資料4	アンケート協力依頼チラシ（高等支援学校用）	資-25

1 調査の目的

10代後半から20代前半の思春期・若年期の女性がどのような困りごとや悩みを抱えており、その困りごとや悩みをどの程度周囲に相談できているのかを把握する。

2 調査内容等

(1) 調査対象

- ・高等学校女子生徒：石狩管内の公立高等学校に通学する女子生徒
- ・高等支援学校女子生徒：札幌市内の高等支援学校に通学する女子生徒
- ・一般女性：札幌市内に居住する19歳から24歳までの女性

(2) 調査期間

- ・令和2年12月13日～令和3年1月4日

(3) 調査項目

最終学歴（※）、就労状況（※）、不安に感じていること、これまでの嫌な体験と相談の有無（学校、家庭、職場・アルバイト、交際相手、その他の人）、SNSやアプリなどで出会いを求める書き込み、自己肯定感、相談窓口の認知度 等

（※）は一般女性を対象とした調査のみ

(4) 調査方法

- ・無記名によるアンケート方式。
- ・高等学校は二次元コード付き調査依頼チラシを学校で配付し、WEBで回答を受ける。
- ・高等支援学校は調査票を学校で配付し、郵送で回答を受ける。
- ・一般女性は調査票を郵送し、郵送及びWEBで回答を受ける。
- ・配付、回収、集計は委託業者が行った。

3 調査実施

調査は、札幌市子ども未来局子ども育成部と北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターが共同で実施。

調査票の設計、分析及び報告書の作成は、下記の4名が行った。

- ・松本 伊智朗（北海道大学大学院教育学研究院教授）
- ・加藤 弘通（北海道大学大学院教育学研究院准教授）
- ・侯 玥江（ホウ ユエジャン）（北海道大学大学院教育学院博士後期課程）
- ・佐藤 奈月（北海道大学大学院教育学院博士後期課程）

4 回収状況

調査種別	高等学校に通学する 女子生徒	高等支援学校に通学する 女子生徒	一般女性
対象者	18,769名 ※令和2年5月1日時点	153名 ※令和2年5月1日時点	3,000名 ※住民基本台帳から抽出
回答数	781名 (回収率：4.2%)	55名 (回収率：36.0%)	836名 (回収率：27.9%)

5 主要な結果

1. 「不安に感じていること」に関して、高等学校・高等支援学校では「進路のこと」「学校の勉強のこと」「友だちなどの対人関係」で、一般女性では「生活費や学費」「アルバイトや仕事のこと」で不安を感じているとする回答の割合が高かった。また「自分の病気や体調のこと」については、高等学校・高等支援学校・一般女性すべてにおいて不安を感じているとする回答の割合が比較的高かった。
2. 学校での嫌な体験については、1度以上あると答えた者の割合は7割前後。セクハラや性被害は1～2割前後である一方で、セクハラ・性被害が起きる場合は、教師とのトラブルやいじめ、人間関係のトラブルも同時に起きている場合もある。またそうした嫌な体験をしても、高等学校と一般女性では4割の者は相談していなかった。
3. 家庭での嫌な体験については、1度以上あると答えた者の割合は4～5割。家計の問題が他の全ての問題（例：両親の不仲、両親間での暴力など）にも関連していた。またそうした嫌な体験をした者であっても、高等学校と一般女性の7割強は相談していなかった。
4. 職場・アルバイト先での嫌な体験については、一般女性で約6割の者が1度以上あると答えていた。内容については、いじめ、それ以外の人間関係のトラブル、パワハラが多い。またそうした嫌な体験をしても、一般女性の約3割の者が相談していなかった。
5. 結婚・交際相手との関係での嫌な体験については、1度以上あると答えた者の割合は一般女性で約3割、高等学校で約2割、高等支援学校で約1割であった。一般女性で、その内容に関して最も多いのは、相手からの物理的・精神的な支配で約5割、次いで金銭的な問題で4割弱、セクハラ・性被害と望まない性行為・妊娠が同程度で約2割であった。またそうした嫌な体験をしても、一般女性では4割弱、高等学校で5割強の者が相談していなかった。
6. 相談相手に関しては、いずれの相談も親や友人が選ばれることが多く、公的な相談機関が選ばれることは少なかった。
7. 神まちやパパ活について、高校生、一般女性の6～7割が意味を知っていると答えた一方で、「問題ない」と答えたのは1割前後で、4割強が「支援が必要だと思う」に肯定的に答えていた。
8. 学校、家庭、職場、結婚・交際相手その他における嫌な体験と自尊感情の関係については、数値自体はそれほど高くはないものの、嫌な体験が自尊感情の低下と関連していた。

6 調査結果（詳細）

A. 調査協力者の概要

今回の調査は、石狩管区内の公立高等学校に通学する女子生徒 781 名、高等支援学校に通学する女子生徒 55 名、札幌市に居住する 19 歳～24 歳の女性 836 名を対象に実施しました。各調査協力者の内訳は以下の通りです。※各表の合計が上記の数字と一致しないのは、学年や年齢、居住地域を記入していない者がいるためです。

表 1-1 高校生の調査協力者

	高等支援学校	高等学校	計
1 年生	16	262	278
	29.6%	34.0%	33.7%
2 年生	25	267	292
	46.3%	34.6%	35.4%
3 年生	13	233	246
	24.1%	30.2%	29.8%
4 年生	0	9	9
	0.0%	1.2%	1.1%
計	54	771	825

表 1-2 一般の調査協力者

19 歳	112
	13.4%
20 歳	116
	13.9%
21 歳	110
	13.2%
22 歳	150
	18.0%
23 歳	162
	19.4%
24 歳	169
	20.3%
25 歳	14
	1.7%
計	833

表 1-3 協力者の居住地

	高等支援学校	高等学校	一般女性	計
中央区	3 5.6%	97 12.5%	118 14.2%	218 13.1%
北区	11 20.4%	86 11.1%	131 15.7%	228 13.7%
東区	14 25.9%	78 10.0%	121 14.5%	213 12.8%
白石区	2 3.7%	56 7.2%	88 10.6%	146 8.8%
厚別区	1 1.9%	46 5.9%	45 5.4%	92 5.5%
豊平区	2 3.7%	48 6.2%	102 12.2%	152 9.1%
清田区	2 3.7%	46 5.9%	34 4.1%	82 4.9%
南区	7 13.0%	36 4.6%	53 6.4%	96 5.8%
西区	6 11.1%	64 8.2%	91 10.9%	161 9.7%
手稲区	1 1.9%	39 5.0%	39 4.7%	79 4.7%
札幌市外	5 9.3%	182 23.4%	11 1.3%	198 11.9%
計	54 100.0%	778 100.0%	833 100.0%	1665 100.0%

表 1-4 一緒に住んでいる人（複数回答）（％）

	一般女性	高等支援学校	高等学校
父	36.3	60.0	75.0
母	51.1	85.5	94.2
きょうだい	31.4	65.5	69.4
祖父母	7.1	10.9	10.9
交際相手	6.0		
夫	5.9		
子	3.4		
親せき	0.6	1.8	1.3
ひとり*	30.5	3.6	1.2
その他	2.9	7.3	2.8

* 高等支援学校・高等学校の「ひとり」は下宿や寮でのひとり暮らし
空欄は回答者なし

表 1-5 一般女性の最終学歴

中卒	0.7%
高卒	17.5%
高校中退	1.5%
高校在学中	0.1%
専門学校卒	14.1%
専門学校中退	2.3%
専門学校在学中	6.3%
短大卒	5.2%
短大中退	0.2%
短大在学中	1.8%
大卒	17.6%
大学中退	1.4%
大学在学中	29.2%
大学院卒	0.1%
大学院在学中	1.8%

表 1-6 一般女性の就労状況

パート・アルバイト	37.0%
派遣	1.1%
契約社員・嘱託職員	4.7%
正社員	37.1%
就労していない	20.1%

問 2 大切だと思っている人（複数回答）

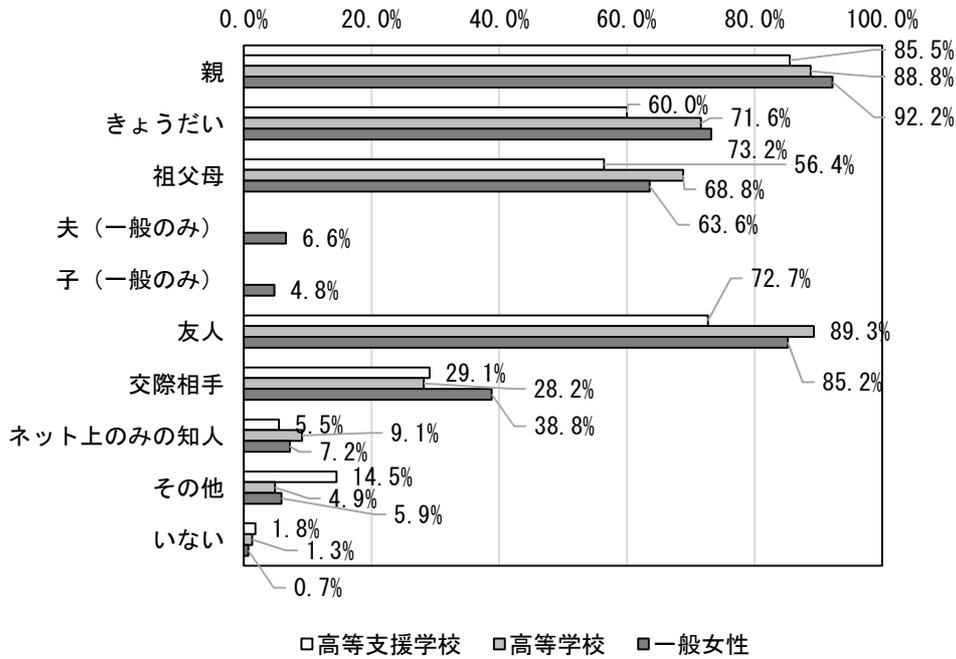


図 2 あなたにとって大切な人（はいと答えた割合）

問3 不安に感じていること

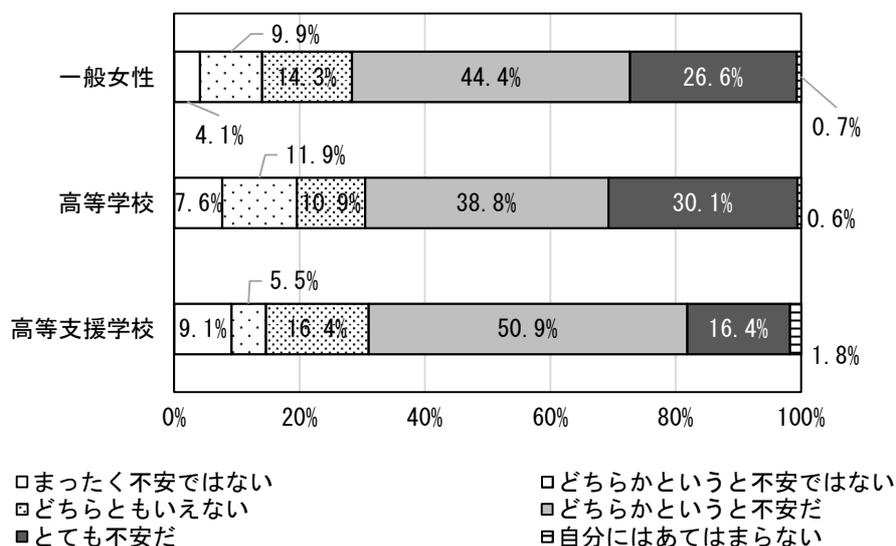


図3-1 進路のこと（一般女性：将来のこと）

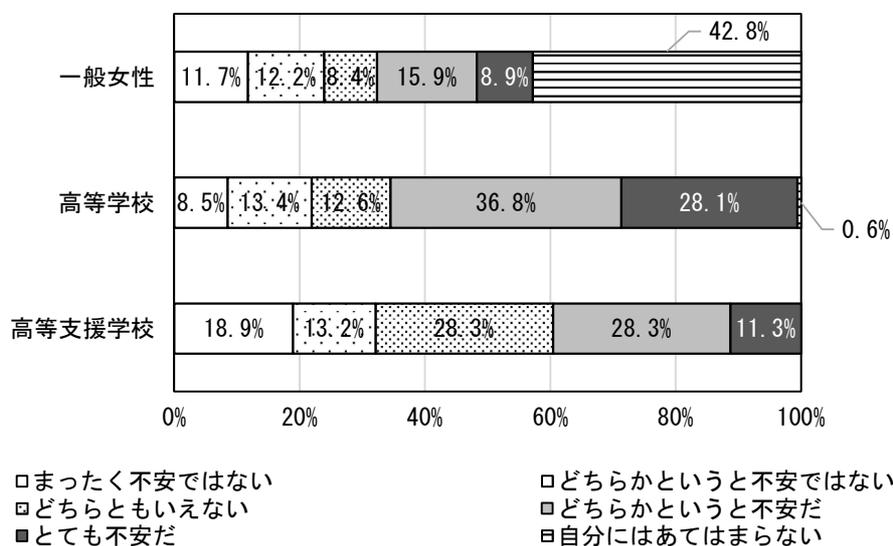


図3-2 学校の勉強のこと

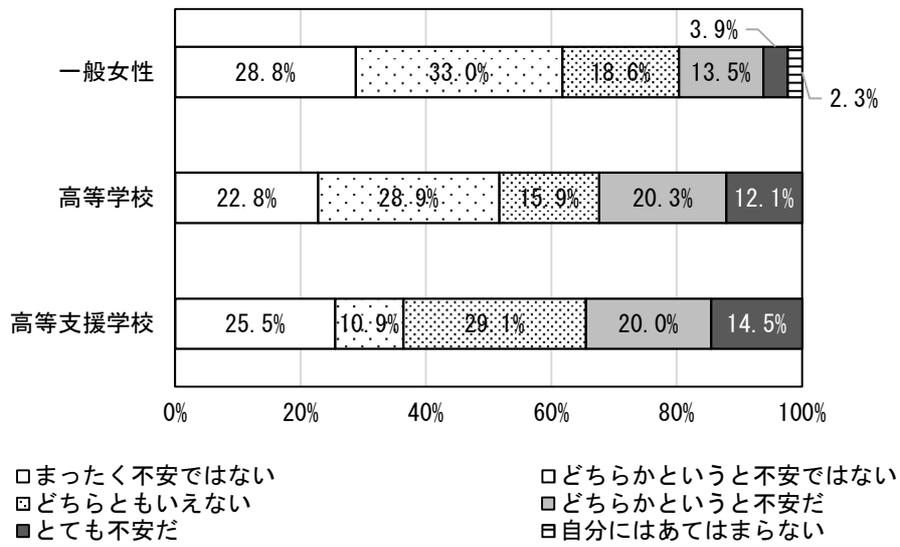


図3-3 友だちなどの対人関係

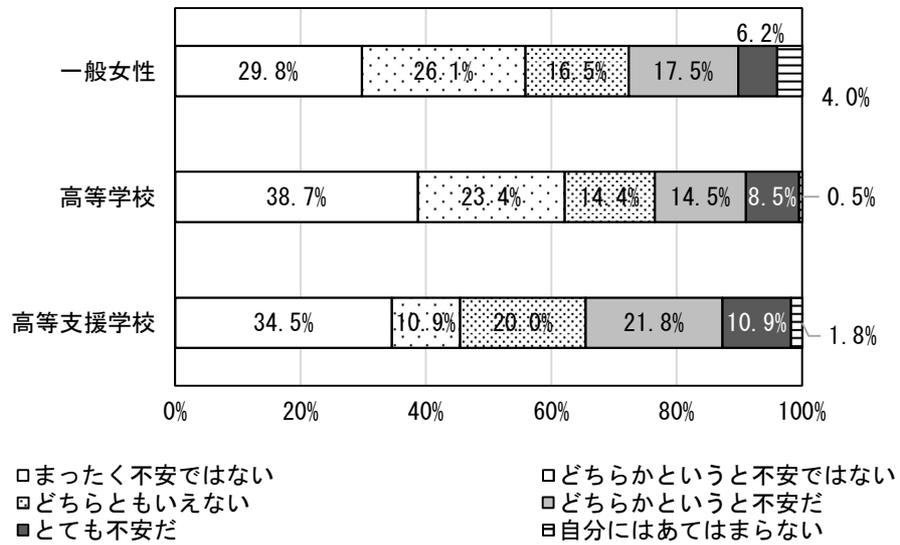
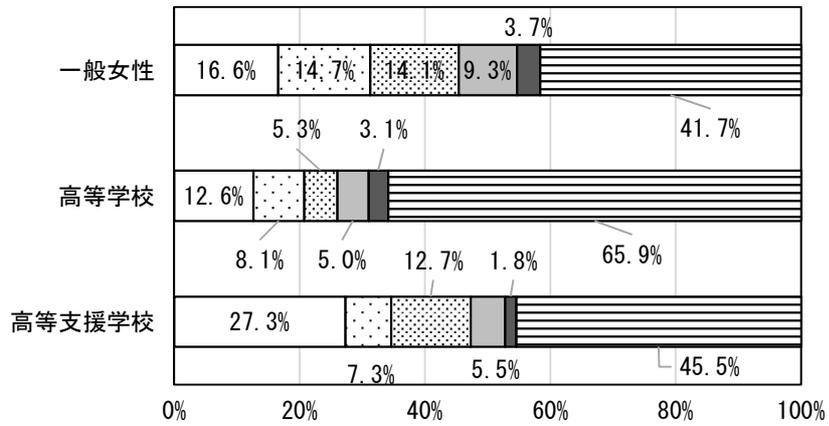
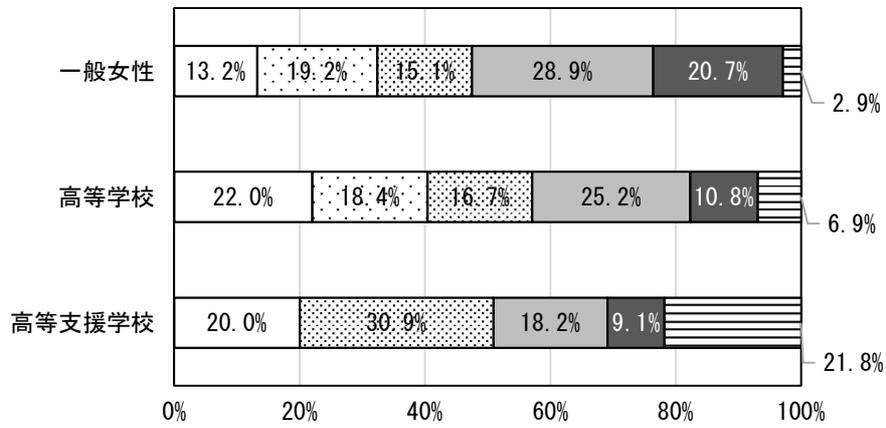


図3-4 家庭のこと



- まったく不安ではない
- どちらともいえない
- とても不安だ
- どちらかという不安ではない
- どちらかという不安だ
- 自分にはあてはまらない

図3-5 交際相手のこと



- まったく不安ではない
- どちらともいえない
- とても不安だ
- どちらかという不安ではない
- どちらかという不安だ
- 自分にはあてはまらない

図3-6 生活費や学費のこと

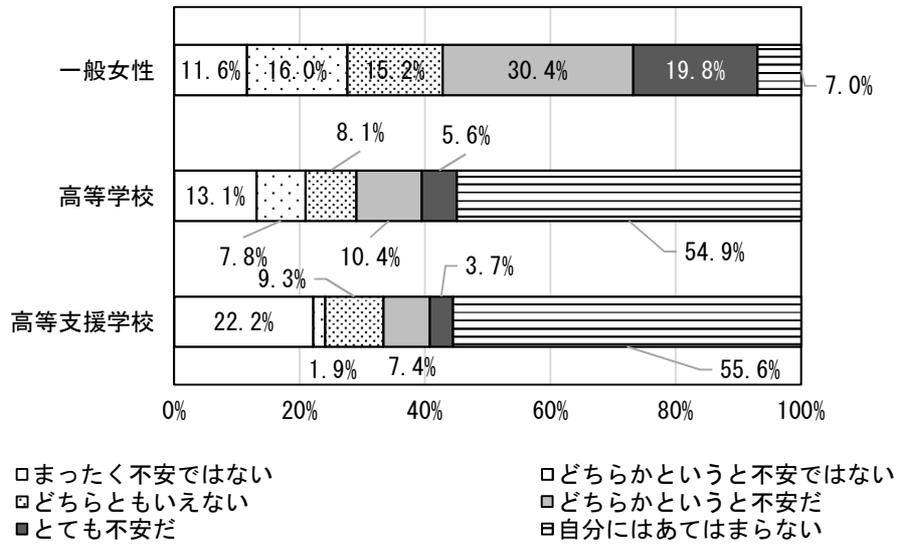


図3-7 アルバイト・仕事のこと

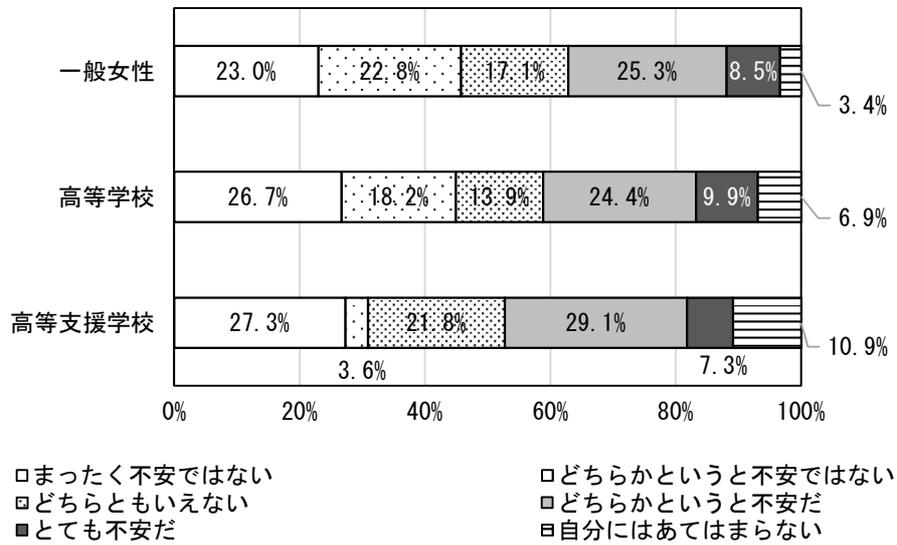


図3-8 自分の病気や体調のこと

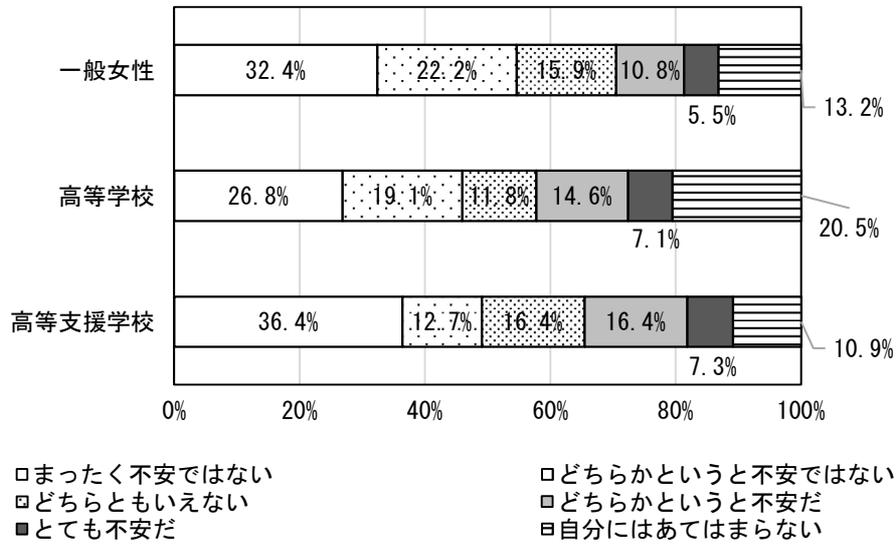


図3-9 相談相手や頼れる人がいないこと

問4 もっとも安心できる・ほっとできる場所

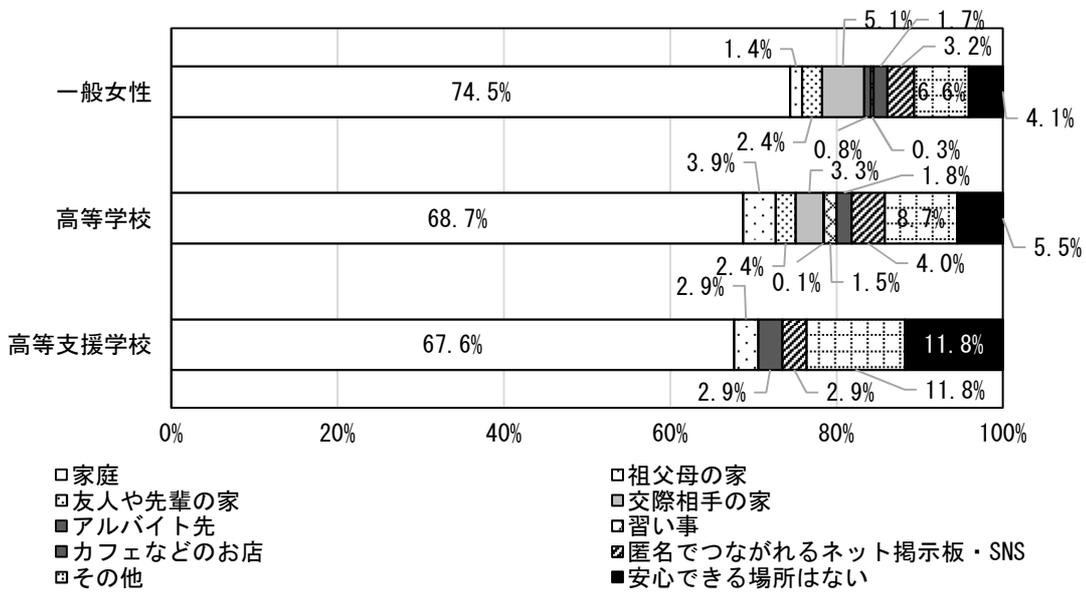


図4 安心できる・ほっとできる場所

B. これまでの体験や周囲の状況について

問5 学校での体験

(1) 学校で今でも思い出すような嫌な経験をしたことはありますか。

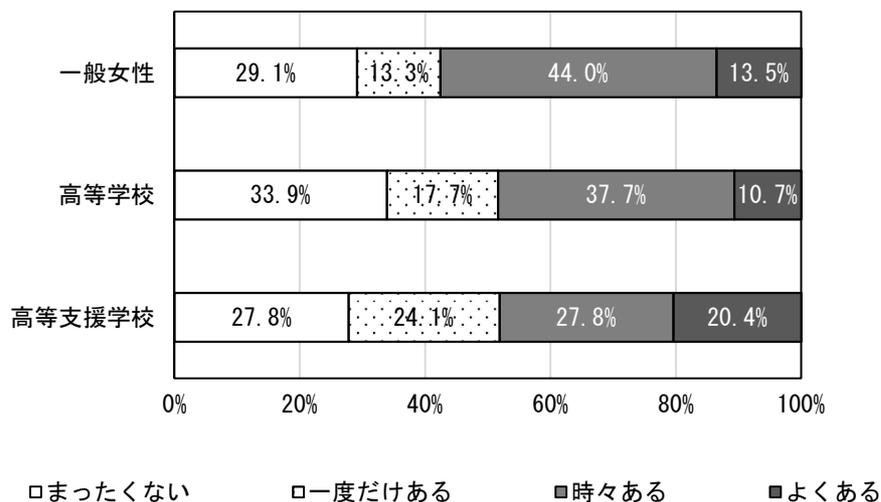


図5(1) 学校で今でも思い出すような嫌な体験

(2) その嫌な経験に以下のことは関係していますか。

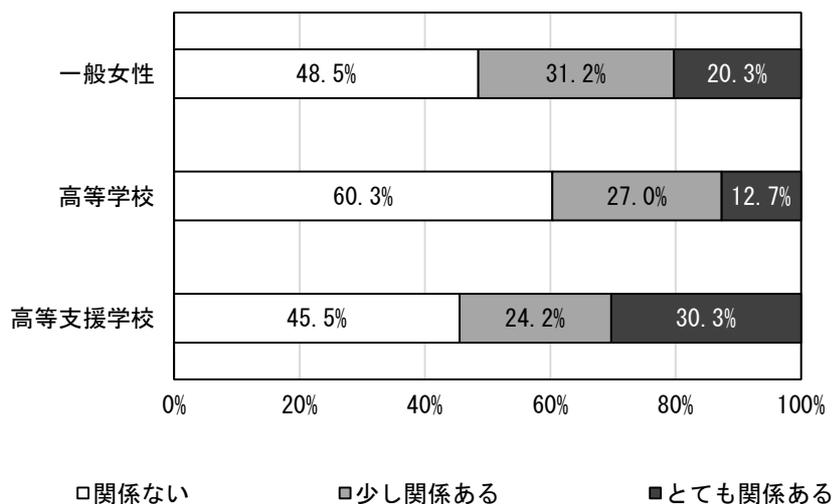


図5-ア いじめ

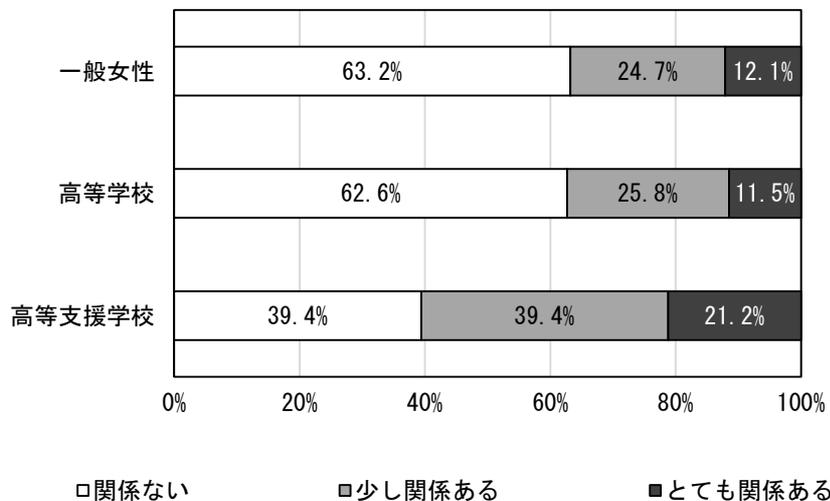


図5-イ 先生とのトラブル

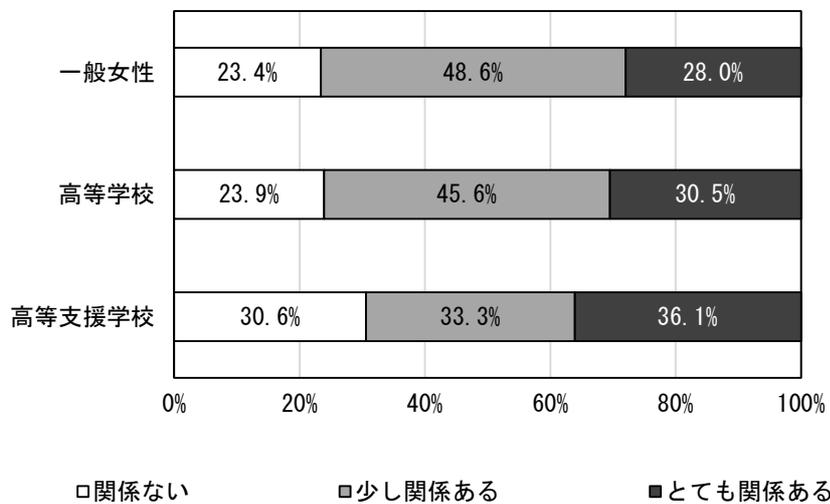


図5-ウ いじめ以外の人間関係のトラブル

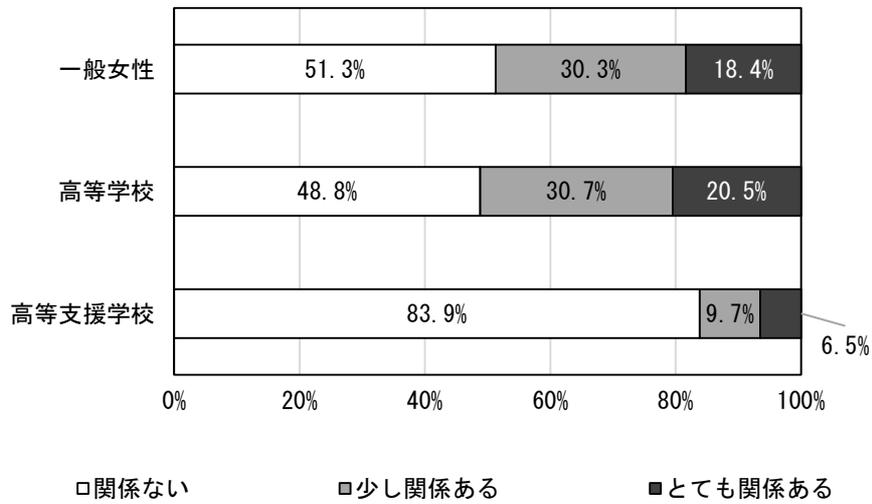


図5-エ 部活動でのトラブル

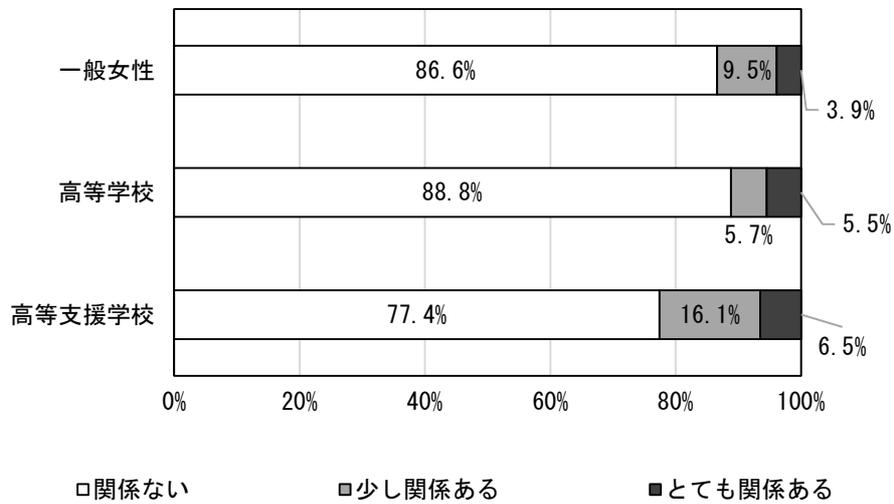


図5-オ セクシュアル・ハラスメントや性的な被害

【学校における嫌な経験の相関関係】

学校での嫌な経験同士の関連性をみるために、相関係数を算出しました。以下にその見方について簡単に解説します。まず相関係数 r という数値を算出します。また数値の見方には 2 つポイントがあります。

①正負(±)の記号

記号がプラスの場合、一方が高くなると他方も高くなる、あるいは一方が低くなると、他方も低くなる関係です。たとえば、親の年収と学力の関係などです。

一方、記号がマイナスの場合、一方が高くなると、他方が低くなる、あるいは一方が低くなると、他方が高くなる関係です。たとえば規範意識と問題行動の関係などです(規範意識が低いと問題行動の頻度が高くなる)。

②数値の大きさ

相関係数 r の数値は-1.00～1.00 までの値をとります。その値が大きければ大きいほど、関連性が強い= 高いということになります。心理学では一般的に以下のようにその関連性の強さを評価することが多いです。

弱い相関 $\pm 0.20 \leq r < \pm 0.30$

相関あり $\pm 0.30 \leq r < \pm 0.40$

比較的強い相関 $\pm 0.40 \leq r < \pm 0.50$

強い相関 $\pm 0.50 \leq r < \pm 0.60$

かなり強い相関 $\pm 0.60 < r$

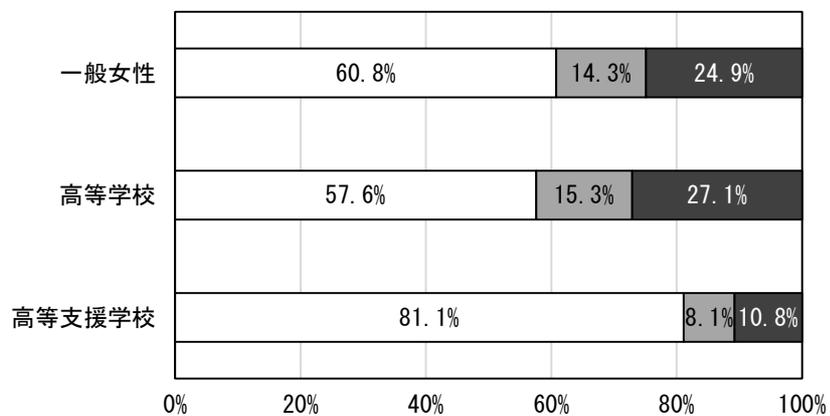
このことをふまえ、学校での嫌な経験同士の関連性を検討すると、それぞれの問題同士の相関係数はそれほど高くありませんが、セクシュアル・ハラスメントや性的な被害は、他の様々な問題と関連していました。特に先生とのトラブルが相対的に高かったです。つまり、セクシュアル・ハラスメントや性的な被害を受けている者は、他の嫌な体験をしている割合も高くなる傾向があり、特に先生とのトラブルとの関連が比較的強いと言えます。

表 5 (2) 学校における嫌な経験の相関関係 (空欄は関連なし)

	先生とのト ラブル	いじめ以外の人間 関係のトラブル	部活動での トラブル	セクハラ や性被害
いじめ	.184**			.160**
先生とのトラブル			.122**	.226**
いじめ以外の人間関係のトラブル			.230**	.165**
部活動でのトラブル				.090**

** $p < .01$, * $p < .05$

(3)そのことをあなたは相談しましたか。



□相談した □相談したかったが、できなかった ■相談しようと思わなかった

図5(3) 相談しましたか

(4) そのことを以下の人たちにどれだけ相談しましたか。

表5(4) 相談対象と相談経験(空欄は0%)

		まったくない	少しした	たくさんした
親	高等支援学校	22.2%	22.2%	55.6%
	高等学校	16.7%	33.7%	49.7%
	一般女性	16.5%	32.2%	51.3%
きょうだい	高等支援学校	72.2%	16.7%	11.1%
	高等学校	76.8%	16.1%	7.0%
	一般女性	66.3%	23.6%	10.1%
友人	高等支援学校	39.1%	43.5%	17.4%
	高等学校	18.2%	40.1%	41.8%
	一般女性	20.0%	40.3%	39.7%
交際相手	高等支援学校	72.2%	5.6%	22.2%
	高等学校	81.8%	9.4%	8.7%
	一般女性	73.6%	17.9%	8.5%
学校の先生	高等支援学校	10.3%	44.8%	44.8%
	高等学校	40.4%	40.8%	18.8%
	一般女性	48.0%	36.0%	16.0%
保健室の先生	高等支援学校	47.6%	42.9%	9.5%
	高等学校	80.8%	12.3%	6.8%
	一般女性	80.3%	11.4%	8.3%
公的な相談機関	高等支援学校	88.9%	11.1%	
	高等学校	93.8%	5.5%	0.7%
	一般女性	95.6%	3.4%	0.9%
民間の相談機関	高等支援学校	94.4%		5.6%
	高等学校	97.3%	2.4%	0.3%
	一般女性	98.4%	1.6%	
職場・アルバイトの人	高等支援学校	94.4%		5.6%
	高等学校	97.9%	1.7%	0.3%
	一般女性	89.4%	9.0%	1.6%
医療機関	高等支援学校	83.3%	11.1%	5.6%
	高等学校	90.7%	6.2%	3.1%
	一般女性	93.1%	4.4%	2.5%
警察	高等支援学校	94.4%	5.6%	
	高等学校	99.3%	0.7%	
	一般女性	97.8%	1.9%	0.3%
匿名で相談できるインターネット の掲示板やSNS	高等支援学校	72.2%	27.8%	
	高等学校	87.9%	10.0%	2.1%
	一般女性	86.1%	11.7%	2.2%

問6 家庭での体験

(1) 家庭で今でも思い出すような嫌な経験

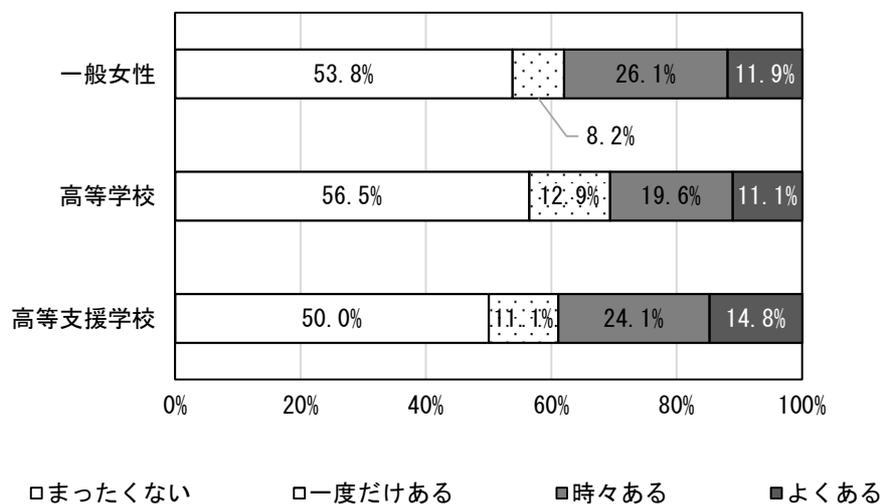


図6(1) 家庭で今でも思い出すような嫌な体験

(2) その嫌な経験に以下のことは関係していますか。

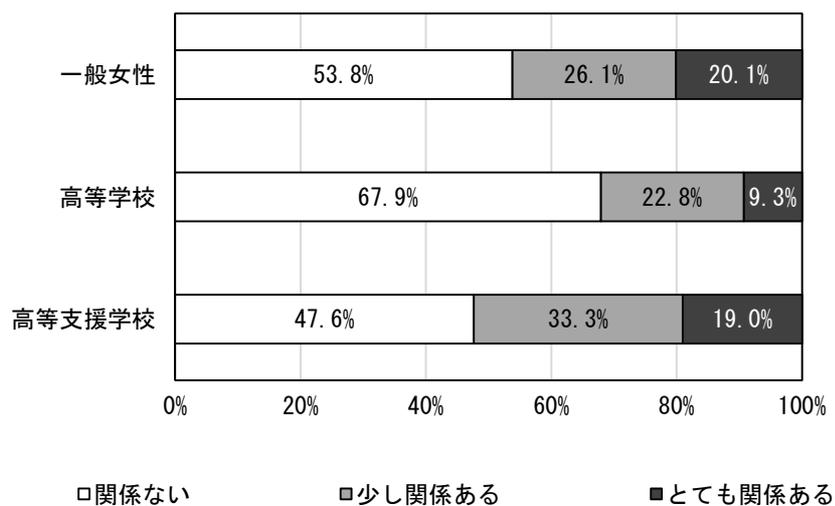


図6-ア 家計の問題

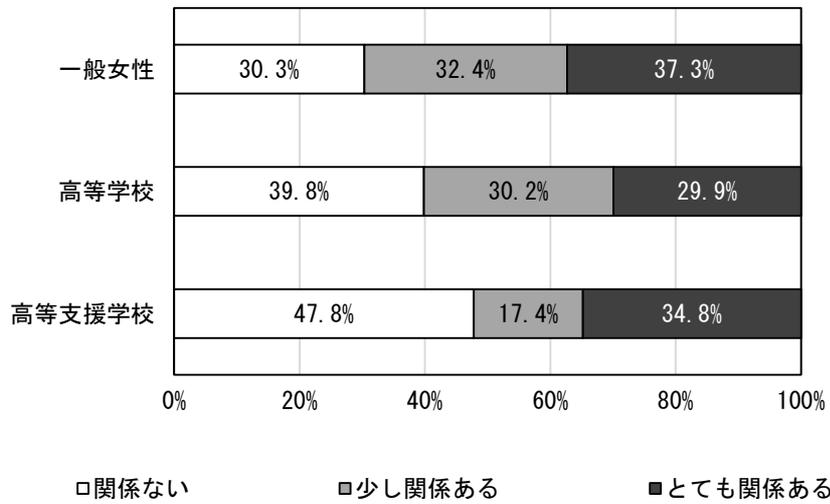


図6-イ 両親の不仲

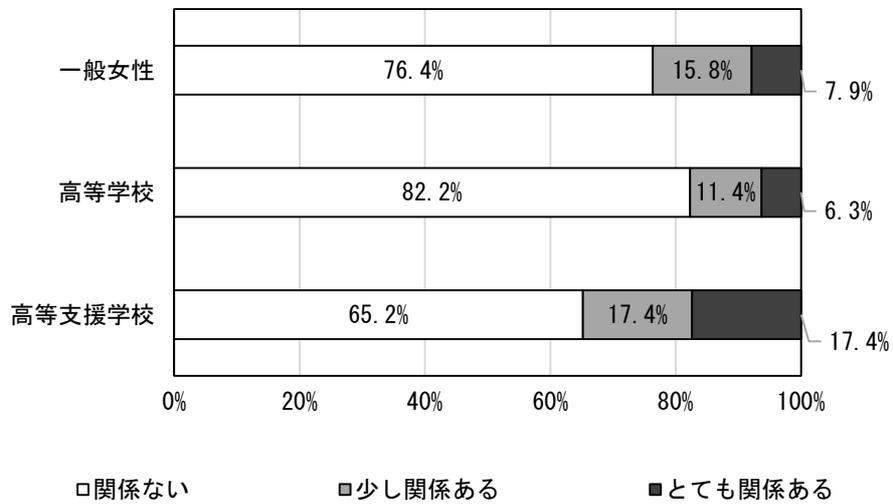


図6-ウ 両親間での暴力

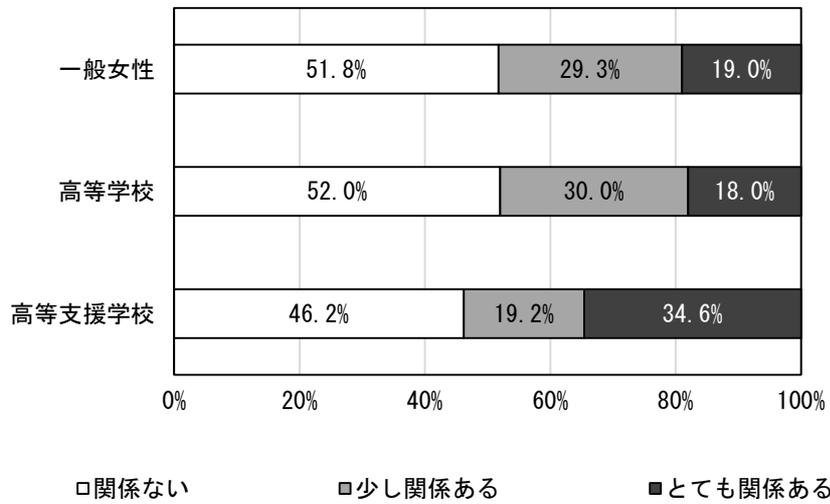


図6-エ 親・きょうだいからの暴力や暴言

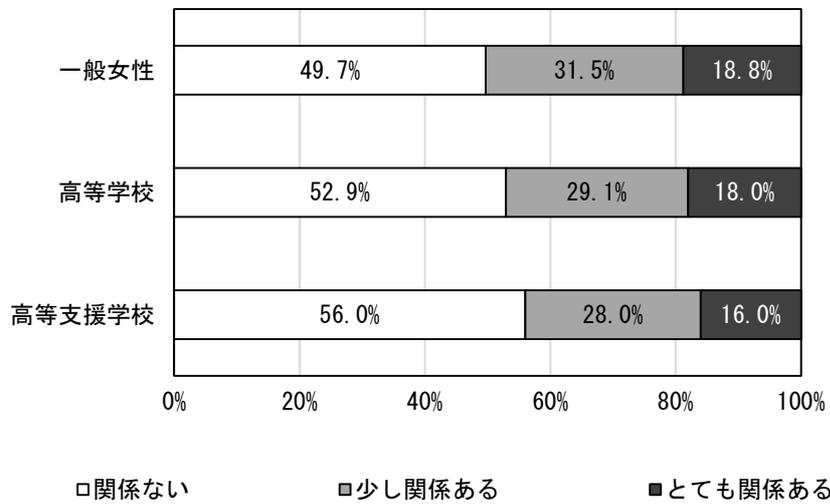


図6-オ 親や家族からの物理的・精神的な支配

【家庭における嫌な経験の相関関係】

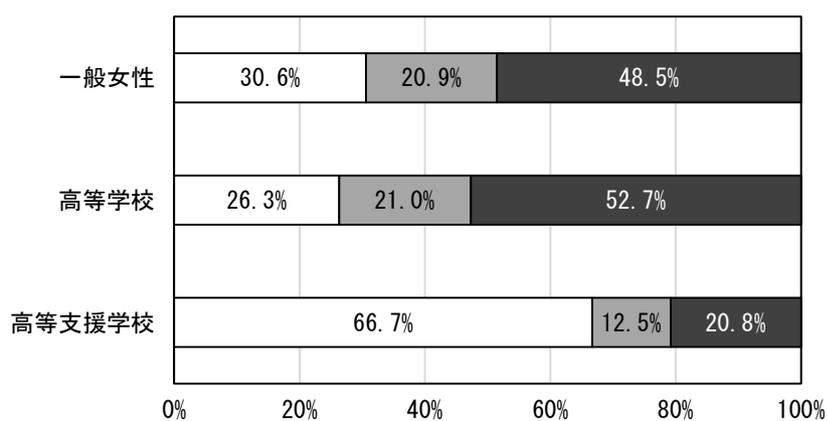
家庭での嫌な経験同士の関連性をみるために、相関係数を算出しました。学校の問題と比較して、多くの問題同士で関連性がみられました。つまり、家庭の問題は、他の問題と絡まり合っていることが分かります。例えば、家計の問題は、他の全ての問題と関連がみられました。つまり経済的な問題は、他の問題へと繋がる問題だといえます。また暴力や暴言は、物理的・精神的な支配と強い関連がみられ、両親の不仲と両親間の暴力も比較的強い関連がみられます。

表 6 (2) 家庭における嫌な経験の相関関係 (空欄は関連なし)

	両親の不仲	両親間での暴力	親・きょうだいなどからの暴力や暴言	親や家族などからの物理的・精神的な支配
家計の問題	.286**	.212**	.158**	.195**
両親の不仲		.394**	.234**	.161**
両親間での暴力			.340**	.233**
親・きょうだいなどからの暴力や暴言				.478**

** $p < .01$

(3) そのことをあなたは相談しましたか。



□相談した □相談したかったが、できなかった ■相談しようとも思わなかった

図 6 (3) 相談しましたか

(4) そのことを以下の人たちにどれだけ相談しましたか。

表 6 (4) 相談対象と相談経験 (空欄は 0%)

		まったくない	少しした	たくさんした
親	高等支援学校	38.5%	23.1%	38.5%
	高等学校	47.7%	29.5%	22.7%
	一般女性	44.8%	31.4%	23.8%
きょうだい	高等支援学校	83.3%	8.3%	8.3%
	高等学校	69.0%	16.1%	14.9%
	一般女性	53.3%	27.1%	19.6%
友人	高等支援学校	83.3%	8.3%	8.3%
	高等学校	34.1%	36.4%	29.5%
	一般女性	24.1%	55.6%	20.4%
交際相手	高等支援学校	61.5%	7.7%	30.8%
	高等学校	67.1%	14.1%	18.8%
	一般女性	56.4%	22.8%	20.8%
学校の先生	高等支援学校	30.8%	15.4%	53.8%
	高等学校	69.3%	19.3%	11.4%
	一般女性	72.8%	19.4%	7.8%
保健室の先生	高等支援学校	61.5%	30.8%	7.7%
	高等学校	81.6%	10.3%	8.0%
	一般女性	89.3%	3.9%	6.8%
公的な相談機関	高等支援学校	90.0%		10.0%
	高等学校	88.4%	4.7%	7.0%
	一般女性	93.1%	4.9%	2.0%
民間の相談機関	高等支援学校	80.0%	10.0%	10.0%
	高等学校	97.7%		2.3%
	一般女性	95.1%	2.0%	2.9%
職場・アルバイトの人	高等支援学校	90.0%	10.0%	
	高等学校	98.8%		1.2%
	一般女性	86.3%	10.8%	2.9%
医療機関	高等支援学校	70.0%	20.0%	10.0%
	高等学校	96.5%	3.5%	
	一般女性	90.2%	5.9%	3.9%
警察	高等支援学校	80.0%		20.0%
	高等学校	92.9%	5.9%	1.2%
	一般女性	99.0%	1.0%	
匿名で相談できるインターネット の掲示板や SNS	高等支援学校	66.7%	22.2%	11.1%
	高等学校	82.4%	10.6%	7.1%
	一般女性	88.2%	11.8%	

問7 職場・アルバイト先での体験

(1) 職場で今でも思い出するような嫌な経験

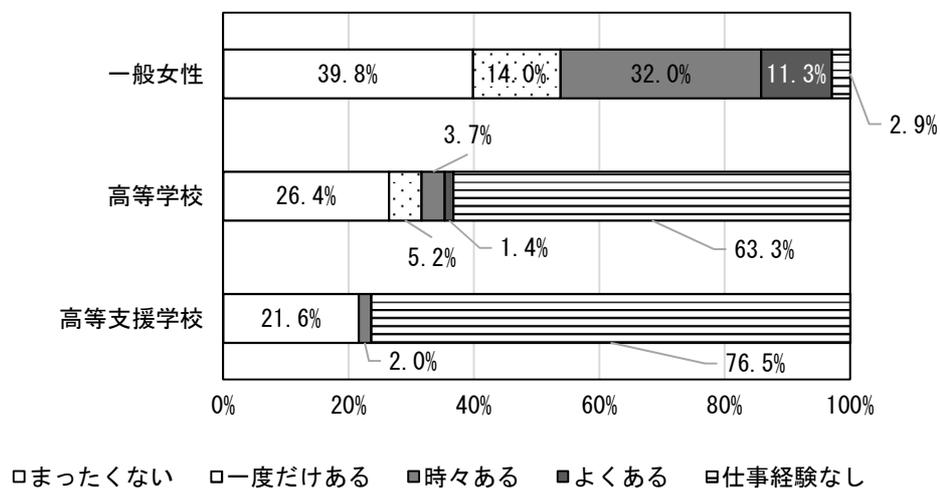


図7(1) 職場で今でも思い出するような嫌な体験

(2) その嫌な経験に以下のことは関係していますか。(高等支援学校の回答が0の場合はグラフが表示されない場合もあります)

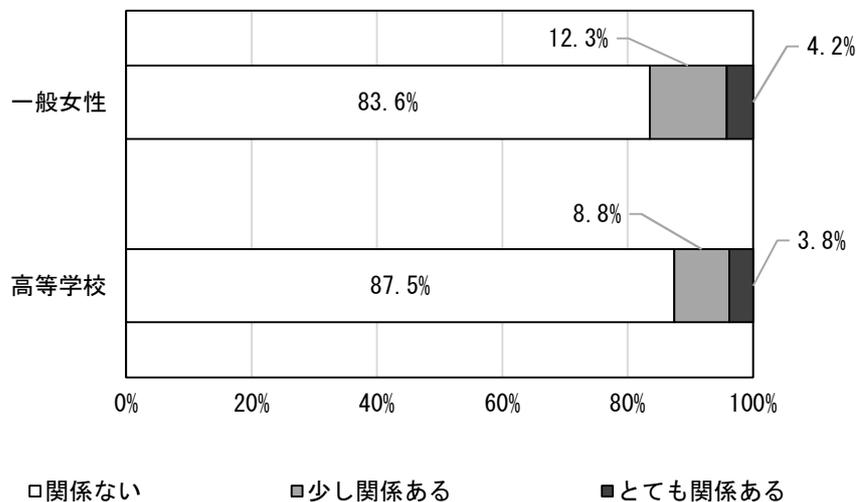


図7-ア いじめ

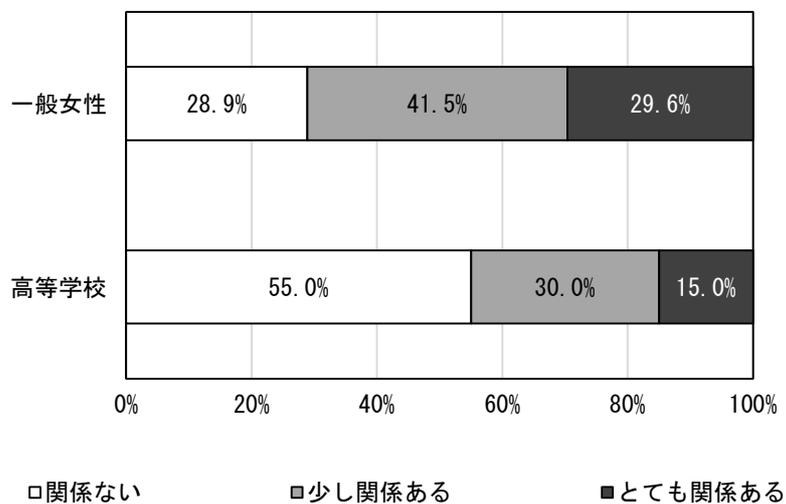


図7-イ いじめ以外の人間関係のトラブル

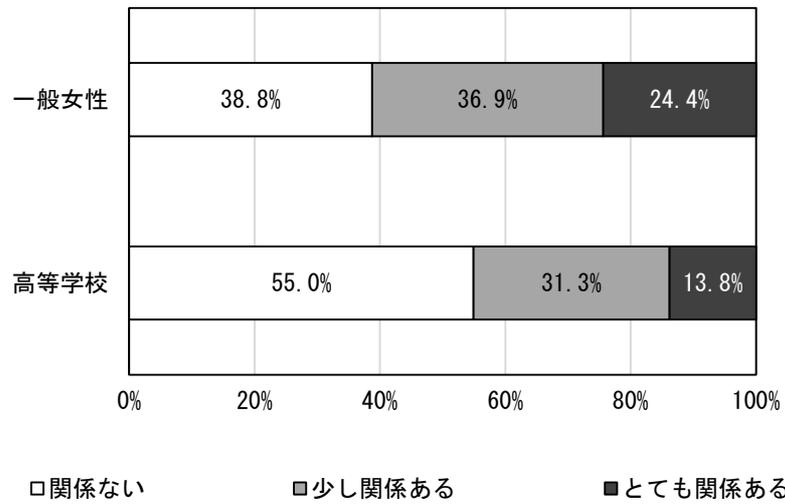


図7-ウ 上司・同僚からのパワハラ

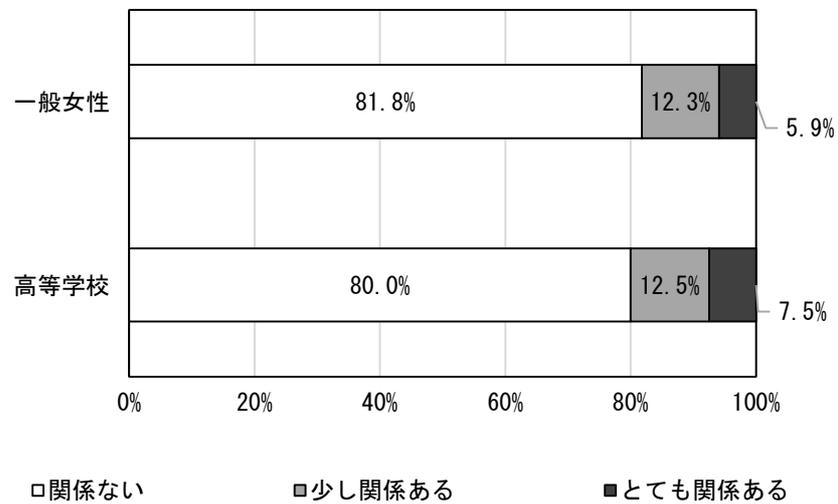


図7-エ セクシュアル・ハラスメントや性的な被害

【職場における嫌な経験の相関関係】

職場での嫌な経験同士の関連性をみるために、相関係数を算出しました。いじめと他の問題の間で関連性がみられました。特に「上司・同僚からのパワハラ」は、比較的強い相関がみられました。これは当たり前ではありますが、パワハラ⇔いじめと捉えていることを表していると思われます。

表 7 (2) 職場における嫌な経験の相関関係 (空欄は関連なし)

	いじめ以外の 人間関係	上司・同僚からの パワハラ	セクハラ・ 性被害
いじめ	.228**	.326**	.183**
いじめ以外の人間関係		.267**	
上司・同僚からのパワハラ			.140**

** $p < .01$

(3) そのことをあなたは相談しましたか。

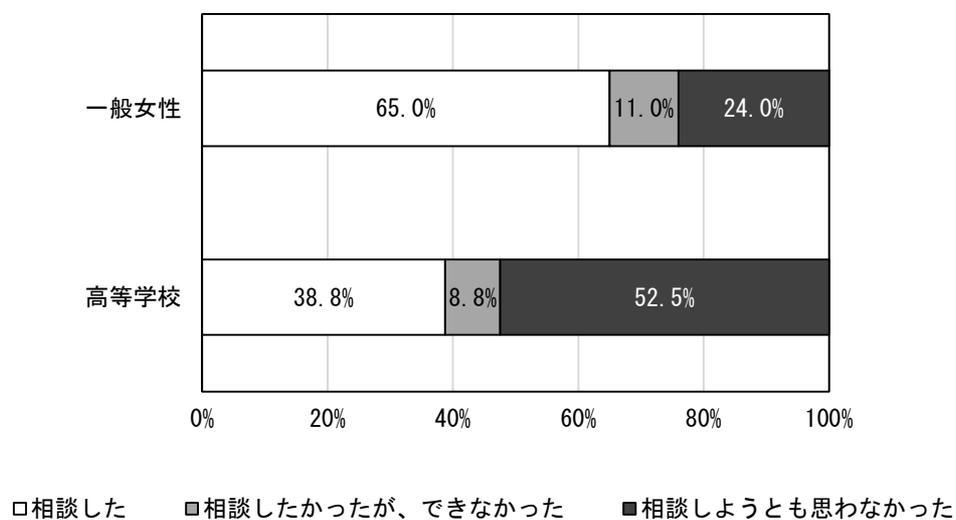


図 7 (3) 相談しましたか

(4) そのことを以下の人たちにどれだけ相談しましたか。

表7(4) 相談対象と相談経験(空欄は0%)

		まったくない	少しした	たくさんした
親	高等学校	16.1%	22.6%	61.3%
	一般女性	19.4%	35.1%	45.5%
きょうだい	高等学校	77.4%	16.1%	6.5%
	一般女性	68.8%	20.8%	10.4%
友人	高等学校	25.8%	41.9%	32.3%
	一般女性	15.4%	41.6%	43.0%
交際相手	高等学校	70.0%	6.7%	23.3%
	一般女性	52.8%	23.4%	23.8%
学校の先生	高等学校	96.8%	3.2%	
	一般女性	96.5%	3.1%	0.4%
保健室の先生	高等学校	96.8%		3.2%
	一般女性	99.6%	0.4%	
公的な相談機関	高等学校	100.0%		
	一般女性	98.4%	1.2%	0.4%
民間の相談機関	高等学校	100.0%		
	一般女性	98.0%	1.2%	0.8%
職場・アルバイトの人	高等学校	60.0%	30.0%	10.0%
	一般女性	39.9%	35.8%	24.4%
医療機関	高等学校	100.0%		
	一般女性	94.1%	4.3%	1.6%
警察	高等学校	100.0%		
	一般女性	99.6%	0.4%	
匿名で相談できるインターネット の掲示板やSNS	高等学校	87.1%	12.9%	
	一般女性	90.4%	4.8%	4.8%

問8 結婚・交際相手との関係での体験

(1) 結婚・交際相手との関係で今でも思い出すような嫌な経験

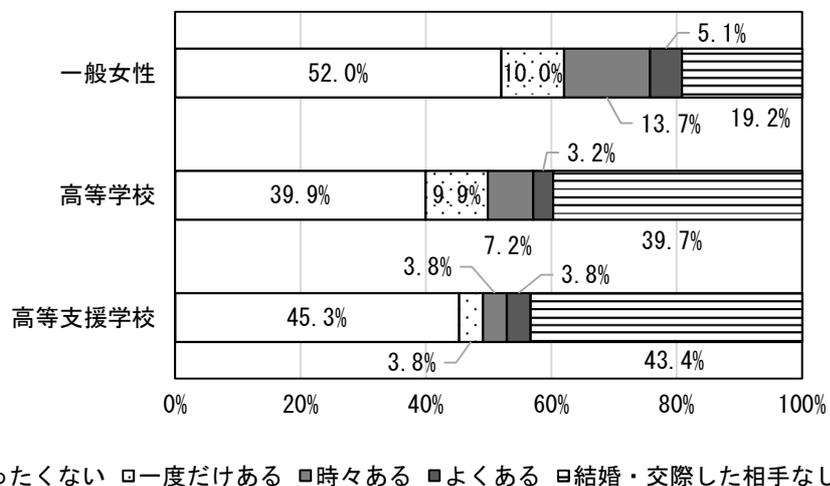


図8(1) 結婚・交際相手との関係で今でも思い出すような嫌な体験

(2) その嫌な経験に以下のことは関係していますか。

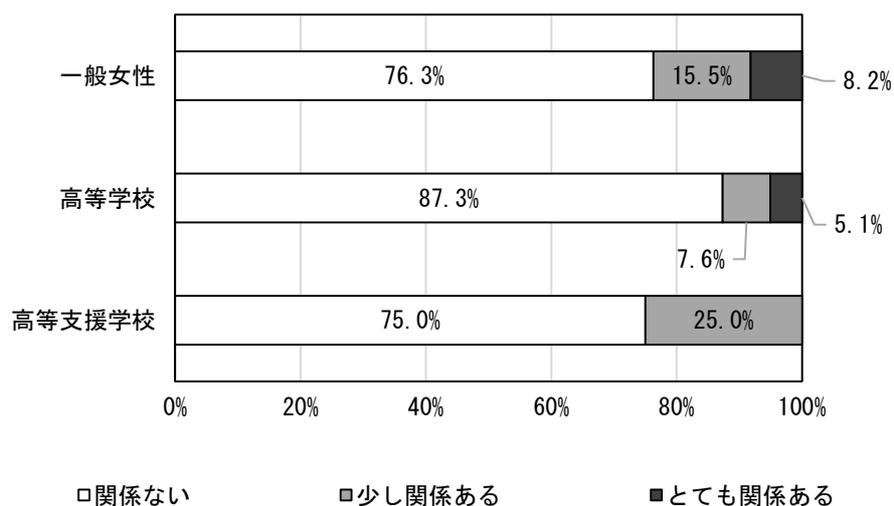


図8-ア 相手からの暴力

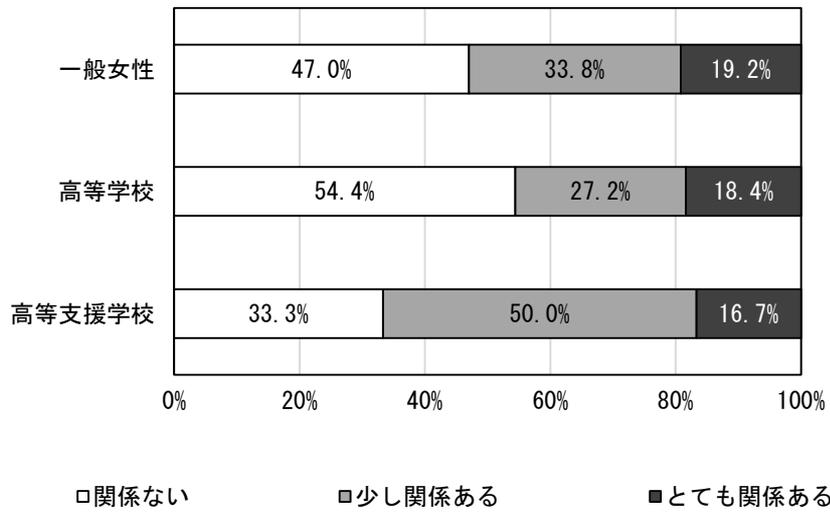


図 8-イ 相手からの物理的・精神的な支配

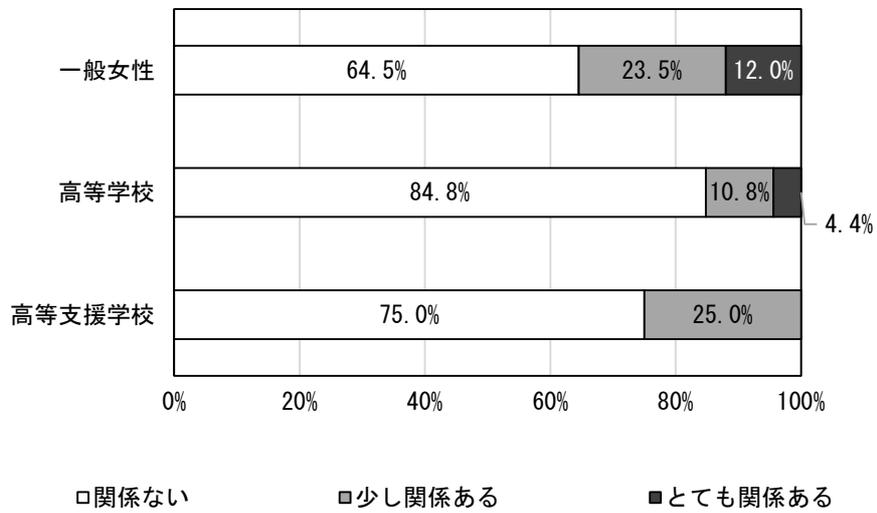


図 8-ウ 金銭的な問題

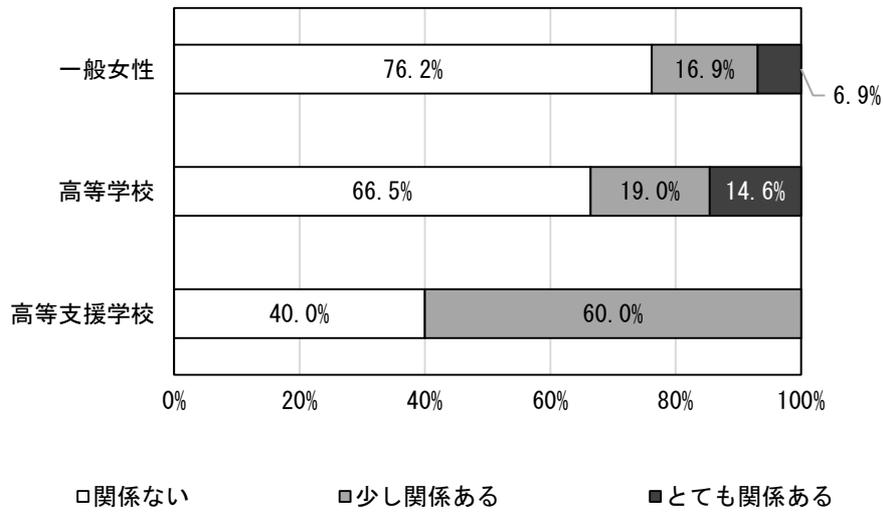


図8-エ セクシュアル・ハラスメントや性的な被害

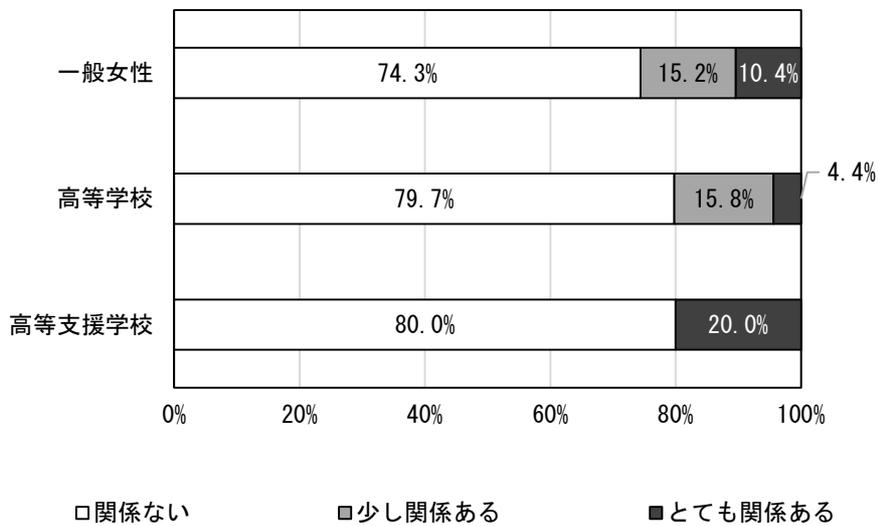


図8-オ 望まない性行為・妊娠

(3)そのことをあなたは相談しましたか。

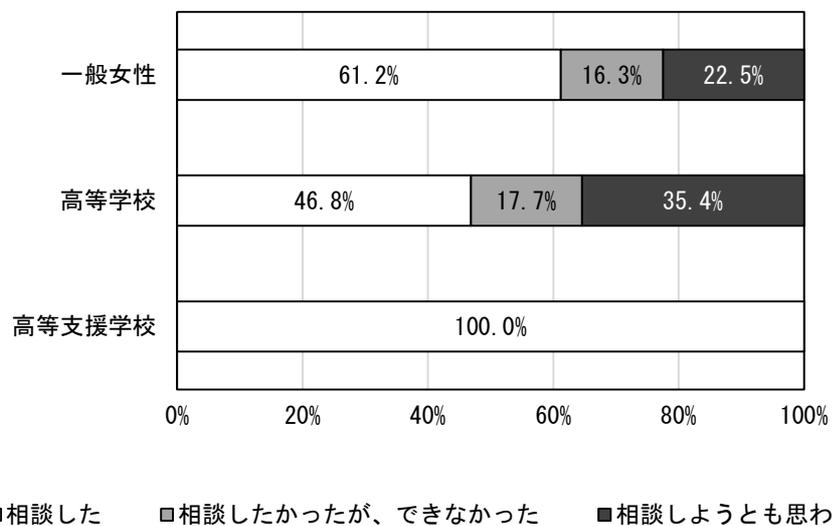


図 8 (3) 相談しましたか

(4) そのことを以下の人たちにどれだけ相談しましたか。

表 8 (4) 相談対象と相談経験 (空欄は 0%)

		まったくない	少しした	たくさんした
親	高等支援学校		33.3%	66.7%
	高等学校	54.1%	24.3%	21.6%
	一般女性	44.2%	32.6%	23.3%
きょうだい	高等支援学校	40.0%		60.0%
	高等学校	83.3%	12.5%	4.2%
	一般女性	68.1%	20.2%	11.8%
友人	高等支援学校	40.0%	20.0%	40.0%
	高等学校	11.0%	28.8%	60.3%
	一般女性	6.7%	35.1%	58.2%
学校の先生	高等支援学校		20.0%	80.0%
	高等学校	87.7%	6.8%	5.5%
	一般女性	88.2%	10.1%	1.7%
保健室の先生	高等支援学校	25.0%	50.0%	25.0%
	高等学校	95.9%	4.1%	
	一般女性	94.9%	4.2%	0.8%
公的な相談機関	高等支援学校	100.0%		
	高等学校	94.5%	5.5%	
	一般女性	95.7%	0.9%	3.4%
民間の相談機関	高等支援学校	100.0%		
	高等学校	100.0%		
	一般女性	97.4%	0.9%	1.7%
職場・アルバイトの人	高等支援学校	100.0%		
	高等学校	95.9%	1.4%	2.7%
	一般女性	75.6%	19.3%	5.0%
医療機関	高等支援学校	100.0%		
	高等学校	94.5%	2.7%	2.7%
	一般女性	93.2%	4.2%	2.5%
警察	高等支援学校	66.7%	33.3%	
	高等学校	98.6%	1.4%	
	一般女性	93.3%	5.0%	1.7%
匿名で相談できるインターネット の掲示板や SNS	高等支援学校	100.0%		
	高等学校	83.6%	12.3%	4.1%
	一般女性	91.5%	6.0%	2.6%

問9 学校・家庭・職場・交際相手以外、その他の人との体験

(1) 学校・家庭・職場・結婚・交際相手以外で今でも思い出すような嫌な経験

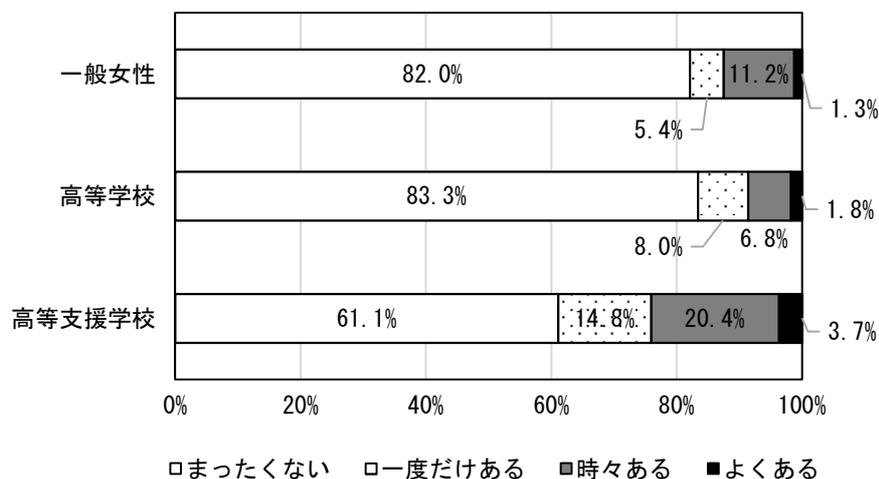


図9(1) その他の人とで今でも思い出すような嫌な体験

(2) その嫌な経験に以下のことは関係していますか。

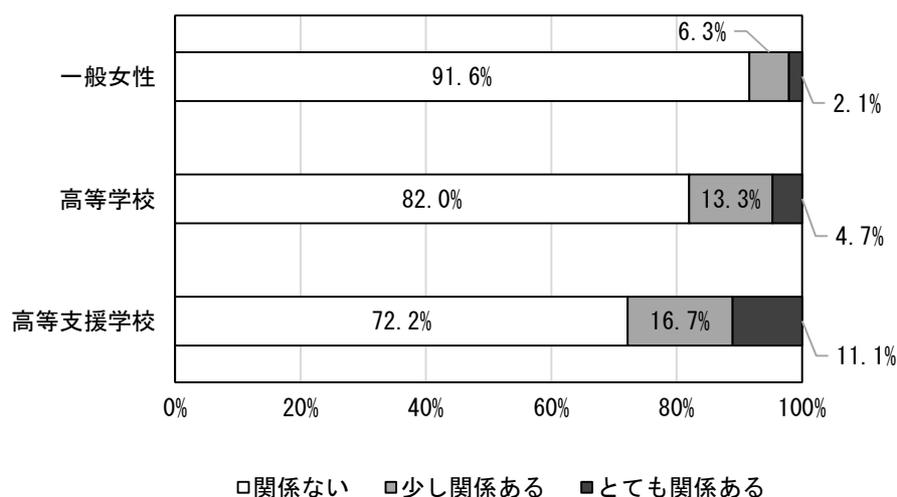


図9-ア 相手からの暴力

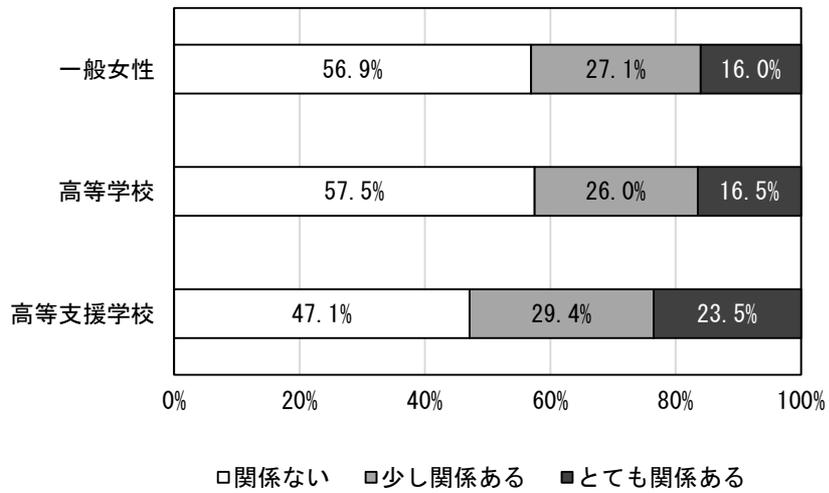


図9-イ 相手からの物理的・精神的支配

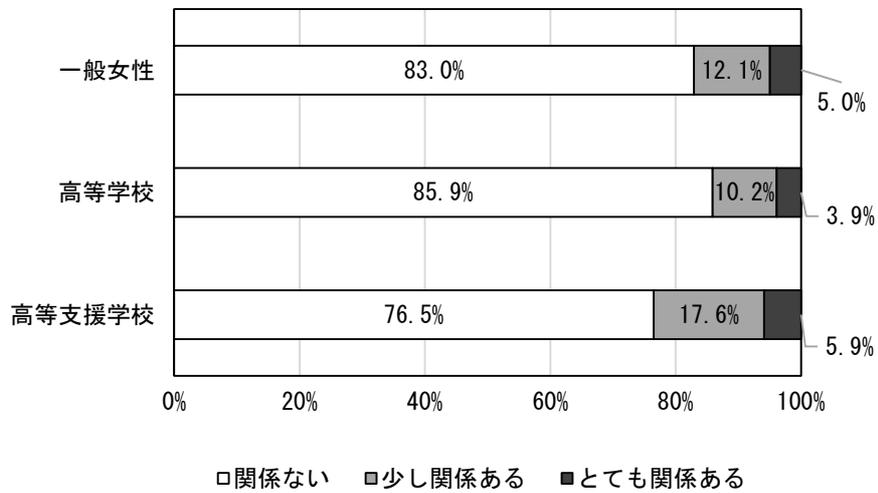


図9-ウ 金銭的な問題

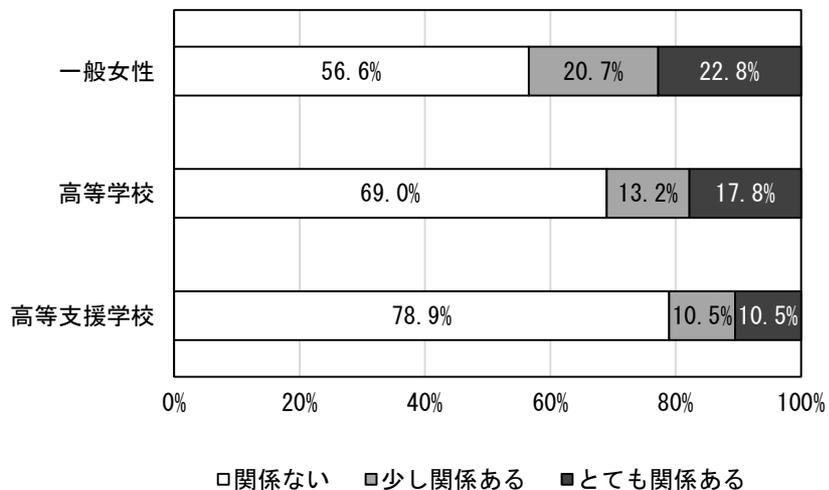


図9-エ セクシュアル・ハラスメントや性的な被害

(3) そのことをあなたは相談しましたか。

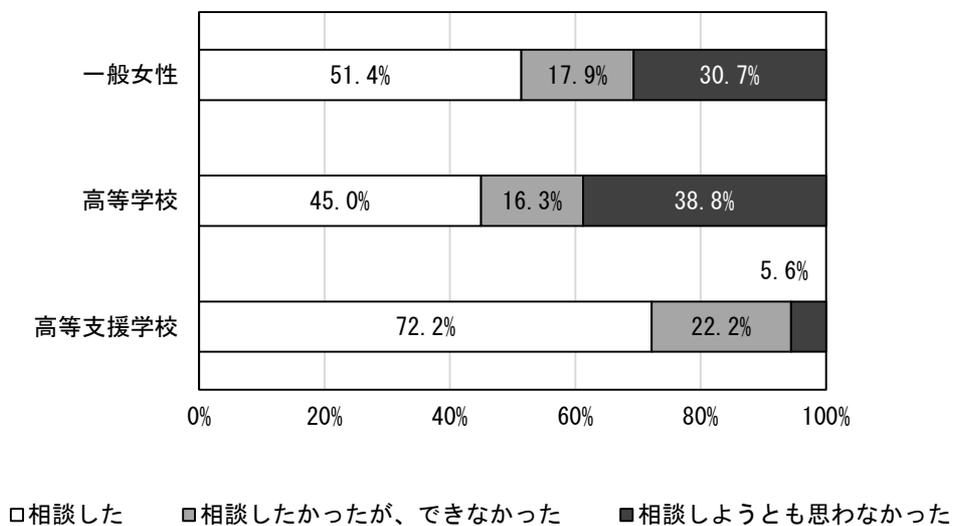


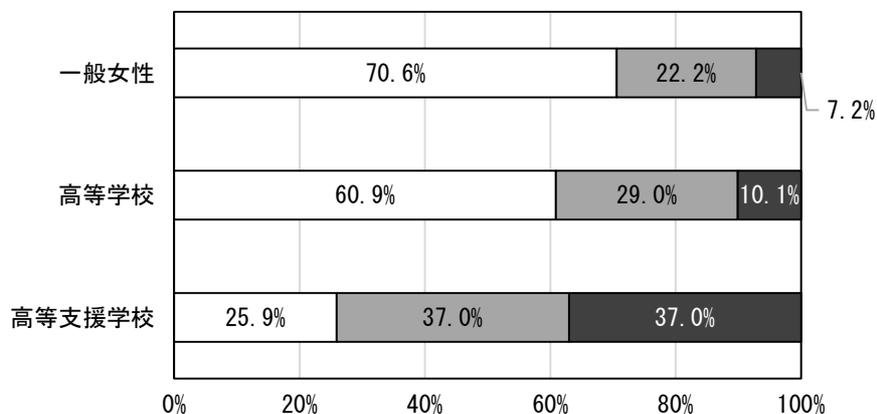
図9 (3) 相談しましたか

(4) そのことを以下の人たちにどれだけ相談しましたか

表9(4) 相談対象と相談経験(空欄は0%)

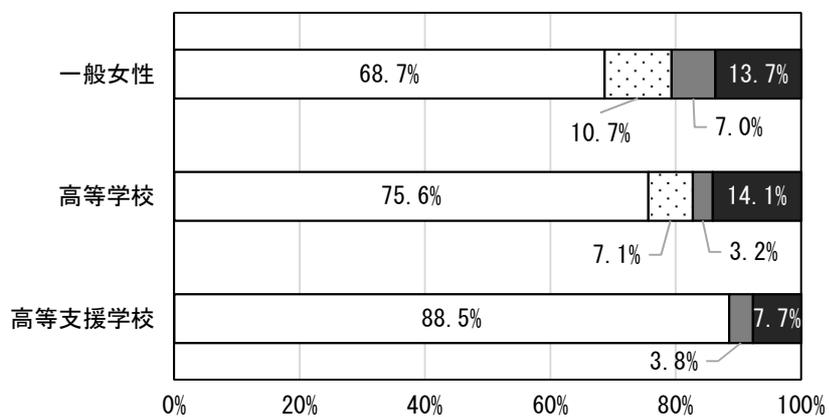
		まったくない	少しした	たくさんした
親	高等支援学校	7.7%	46.2%	46.2%
	高等学校	15.5%	34.5%	50.0%
	一般女性	24.6%	40.0%	35.4%
きょうだい	高等支援学校	66.7%	11.1%	22.2%
	高等学校	64.9%	24.6%	10.5%
	一般女性	75.0%	16.7%	8.3%
友人	高等支援学校	88.9%	11.1%	
	高等学校	29.3%	34.5%	36.2%
	一般女性	26.6%	45.3%	28.1%
交際相手	高等支援学校	77.8%	22.2%	
	高等学校	86.2%	10.3%	3.4%
	一般女性	66.7%	22.2%	11.1%
学校の先生	高等支援学校	45.5%	36.4%	18.2%
	高等学校	71.9%	19.3%	8.8%
	一般女性	83.6%	13.1%	3.3%
保健室の先生	高等支援学校	77.8%	11.1%	11.1%
	高等学校	93.0%	3.5%	3.5%
	一般女性	96.7%	3.3%	
公的な相談機関	高等支援学校	87.5%	12.5%	
	高等学校	93.0%	5.3%	1.8%
	一般女性	96.7%		3.3%
民間の相談機関	高等支援学校	62.5%	25.0%	12.5%
	高等学校	98.2%	1.8%	
	一般女性	96.7%	1.7%	1.7%
職場・アルバイトの人	高等支援学校	100.0%		
	高等学校	98.2%	1.8%	
	一般女性	73.8%	21.3%	4.9%
医療機関	高等支援学校	87.5%	12.5%	
	高等学校	98.2%	1.8%	
	一般女性	88.5%	8.2%	3.3%
警察	高等支援学校	100.0%		
	高等学校	86.0%	5.3%	8.8%
	一般女性	83.3%	8.3%	8.3%
匿名で相談できるインターネットの掲示板やSNS	高等支援学校	71.4%	28.6%	
	高等学校	91.2%	7.0%	1.8%
	一般女性	91.7%	5.0%	3.3%

問 10 SNS での出会いについて



□意味を知っている □聞いたことがあるが意味は知らない ■聞いたことがない

図10(1) 神まち・パパ活という言葉を知っていますか



□一人もいない □一人はいる ■複数人いる ■噂だけは聞いたことがある

図10(2) 周りで神まち・パパ活といった書き込みをした人

(3) 神まち、パパ活といった出会いを求める書き込みをする理由

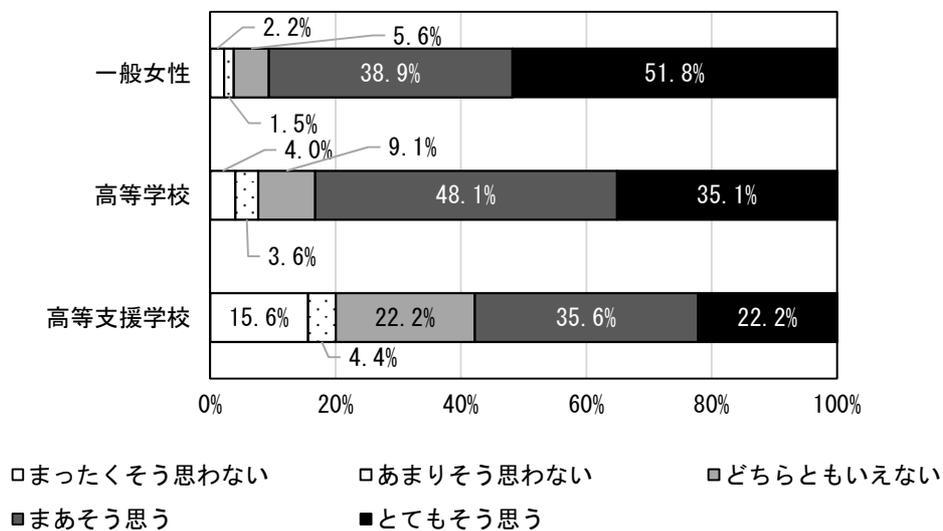


図10(3)ア お金のためだから

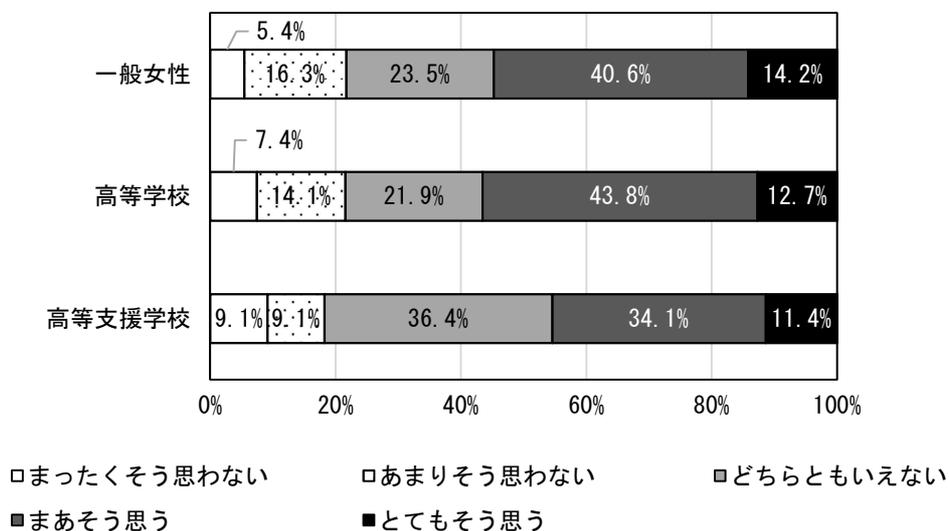
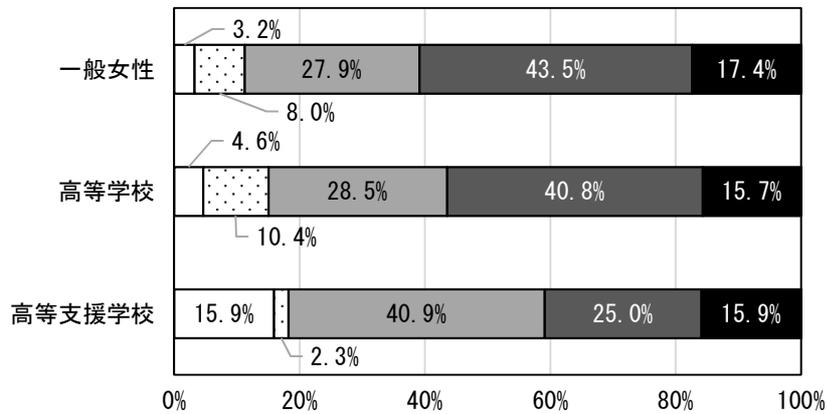
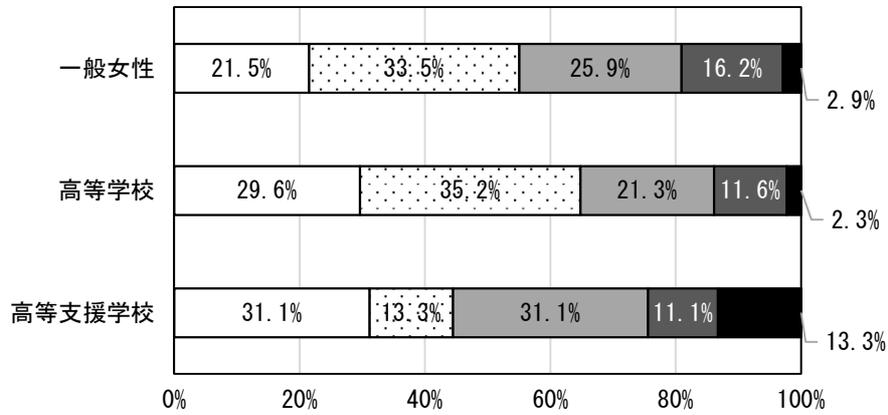


図10(3)イ 居場所がないから



まったくそう思わない あまりそう思わない どちらともいえない
まあそう思う とてもそう思う

図10(3)ウ 自分の意思でやっているから



まったくそう思わない あまりそう思わない どちらともいえない
まあそう思う とてもそう思う

図10(3)エ みんなやっていることだから

(4) 神まちやパパ活といった出会いを求める書き込みをすることについてどう思いますか。

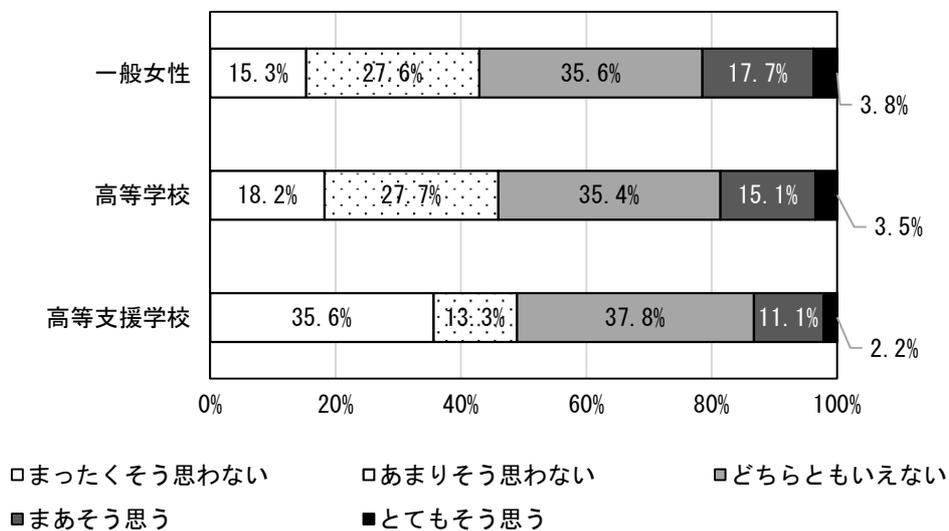


図10(4)ア 仕方なくやっていることだと思う

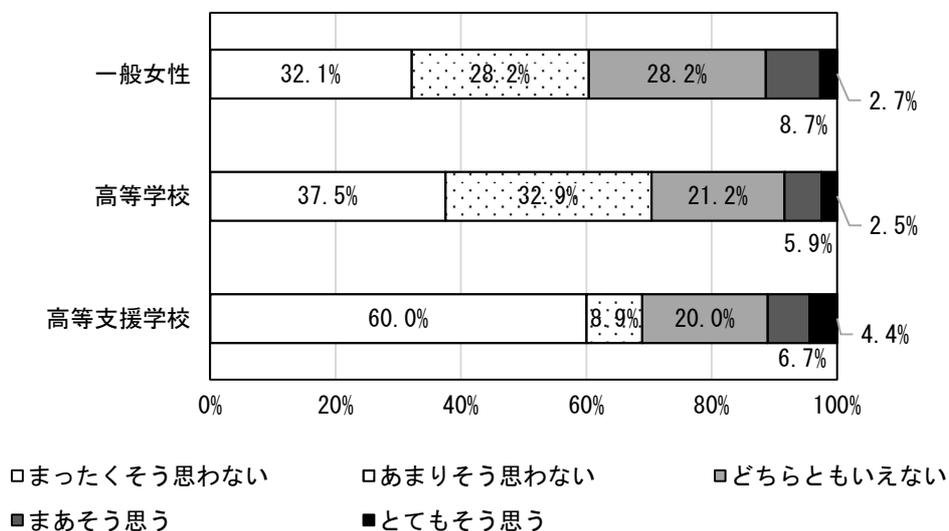
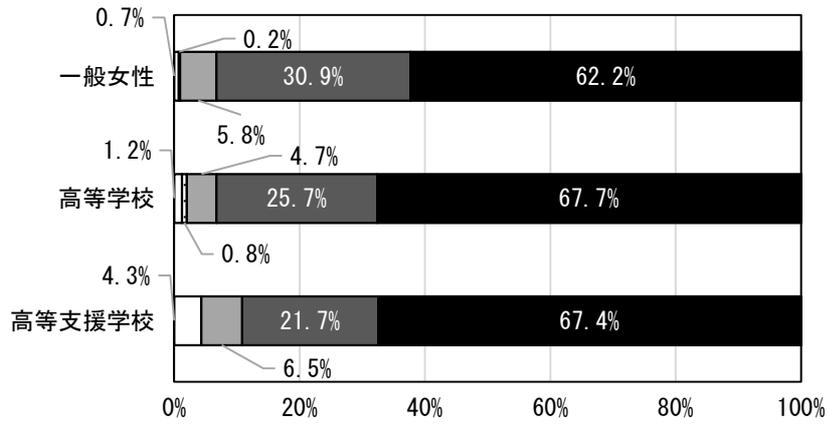
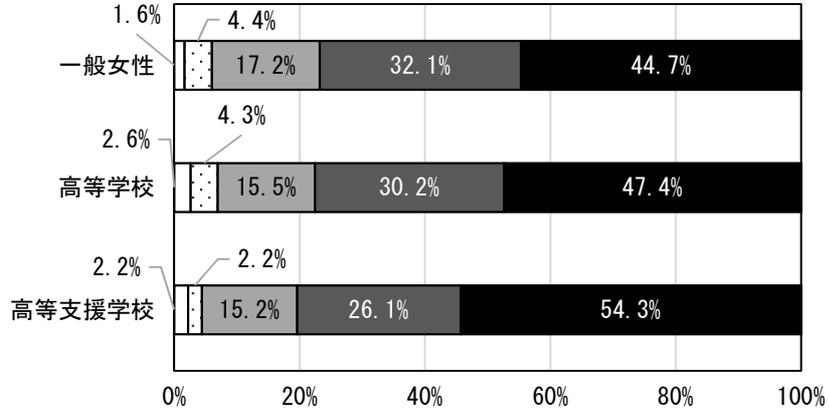


図10(4)イ 問題ないと思う



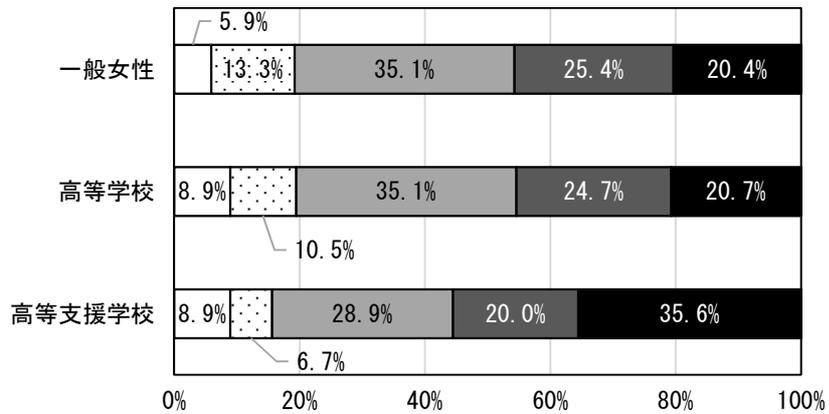
まったくそう思わない あまりそう思わない どちらともいえない
まあそう思う とてもそう思う

図10(4)ウ 危険な目に遭う可能性があると思う



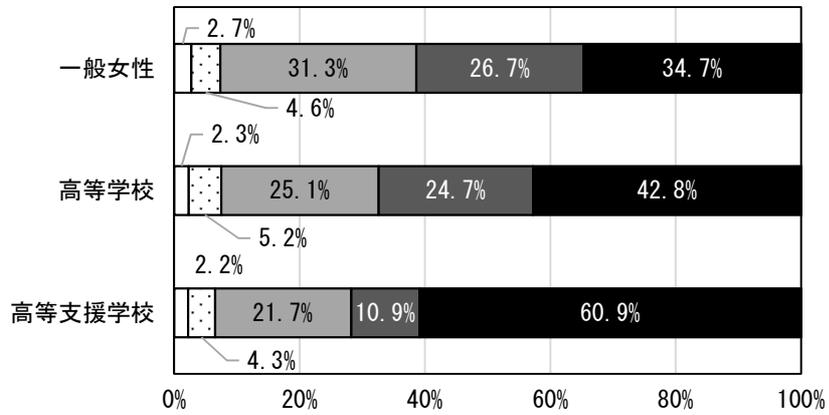
まったくそう思わない あまりそう思わない どちらともいえない
まあそう思う とてもそう思う

図10(4)エ 親や家族を悲しませるかもしれないと思う



まったくそう思わない あまりそう思わない どちらともいえない
まあそう思う とてもそう思う

図10(4)オ 支援が必要だと思う



まったくそう思わない あまりそう思わない どちらともいえない
まあそう思う とてもそう思う

図10(4)カ やるべきではないと思う

問 11 自尊感情

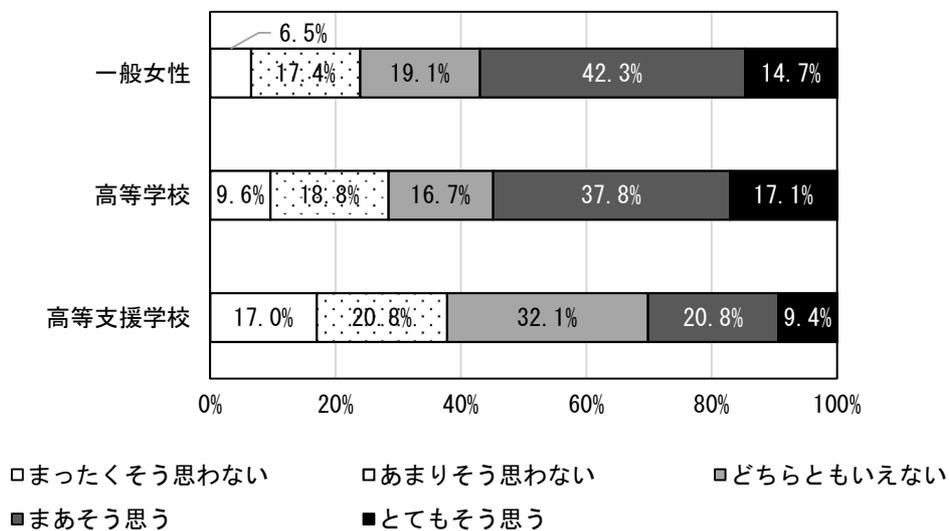


図11ア 少なくとも人並みには、価値のある人間である

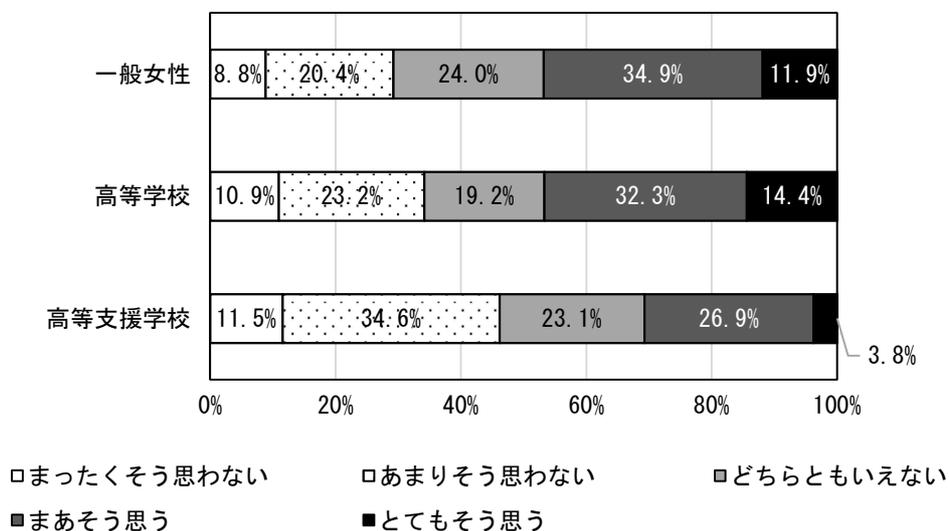
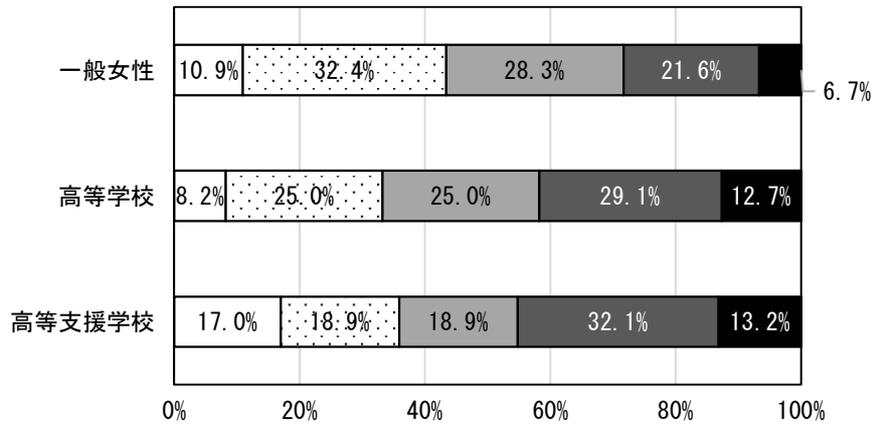
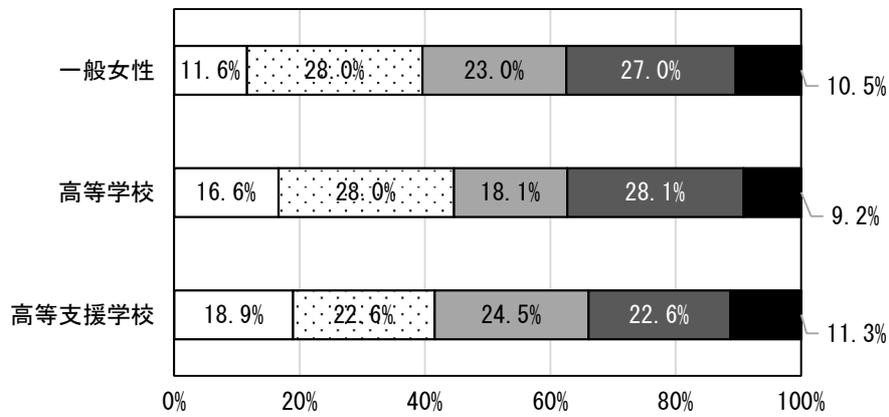


図11イ いろいろな良い素質をもっている



まったくそう思わない あまりそう思わない どちらともいえない
まあそう思う とてもそう思う

図11ウ 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う



まったくそう思わない あまりそう思わない どちらともいえない
まあそう思う とてもそう思う

図11エ だいたいにおいて、自分に満足している

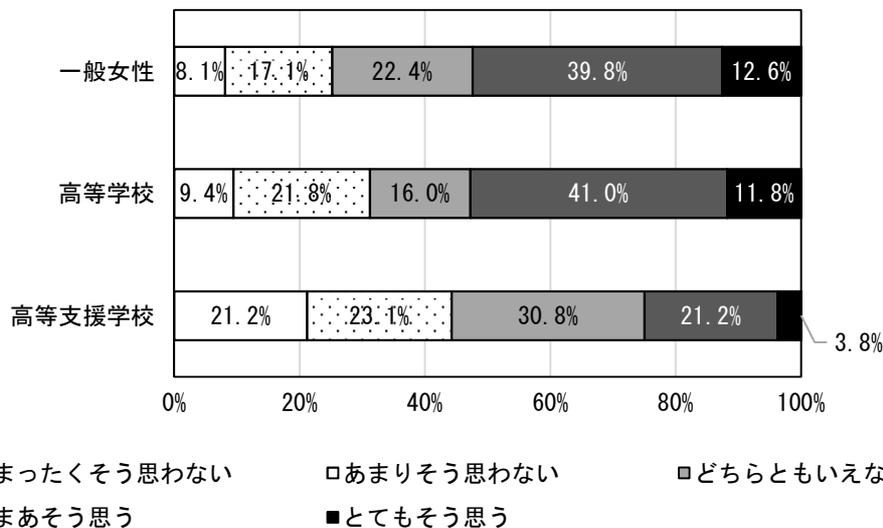


図11オ 物事を人並みには、うまくやれる

C. 相談窓口について

問 12 公的機関の窓口を知っていますか。

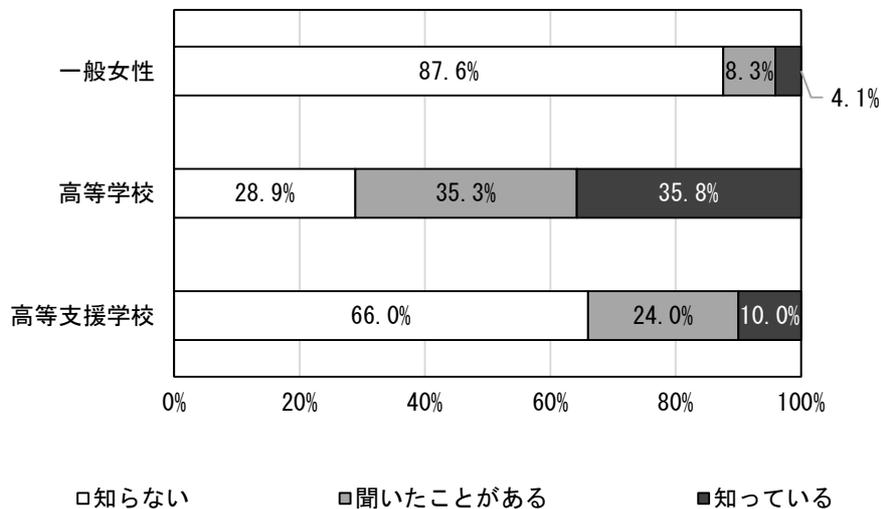


図12ア ガールズ相談

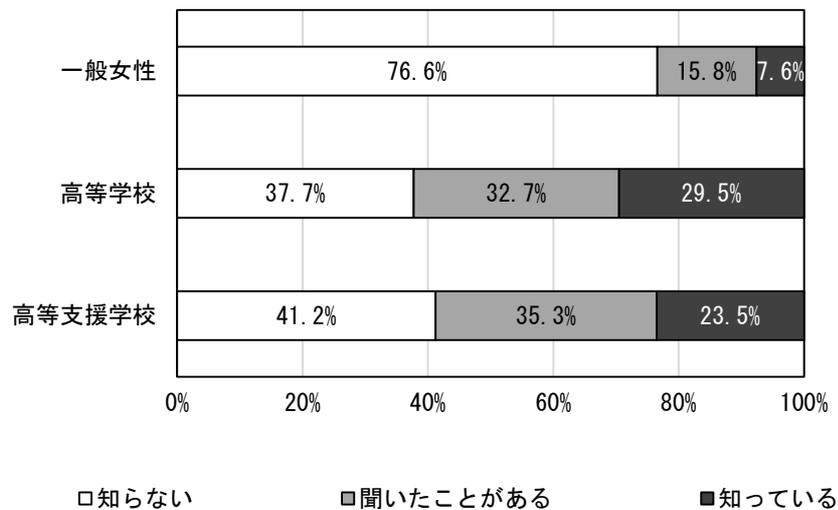


図12イ 子どもアシストセンター

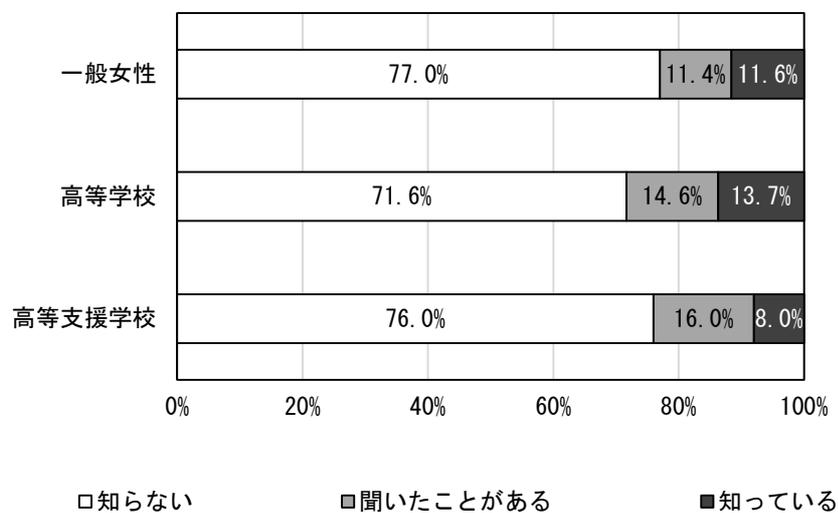


図12ウ 札幌若者支援施設 (Youth+)

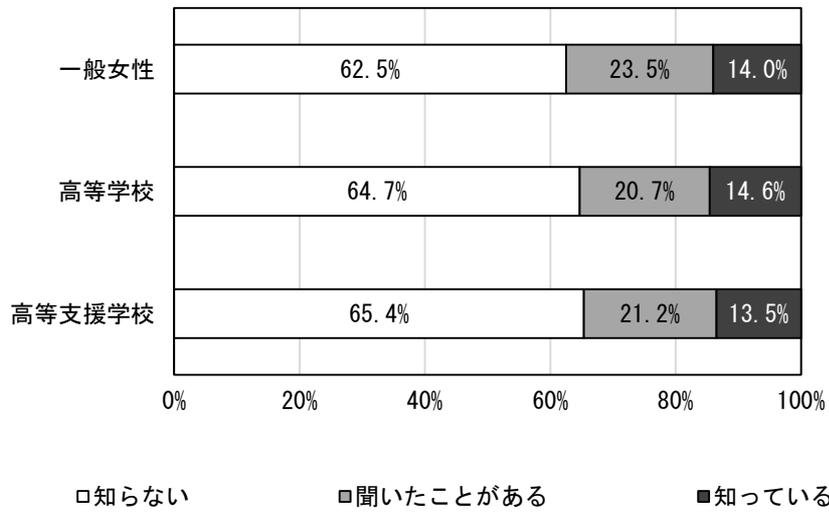


図12エ 性暴力被害者支援センター北海道 (SAGRACH)

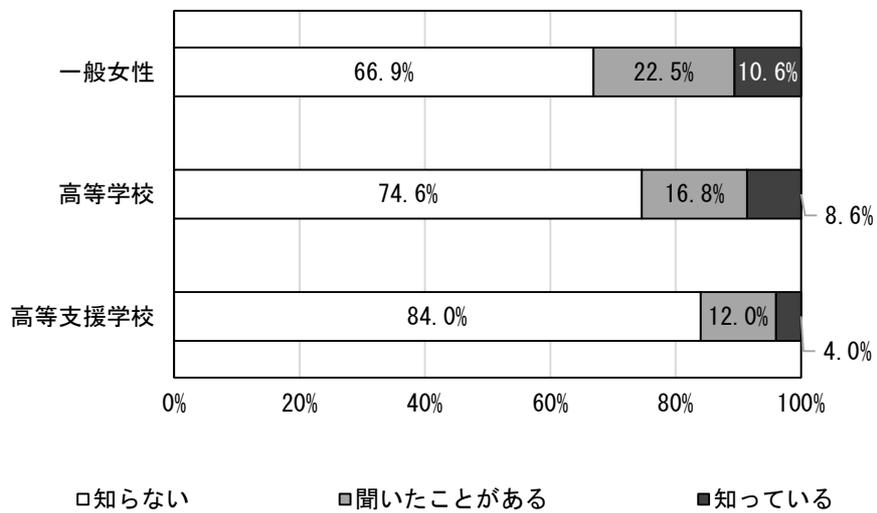


図12オ 札幌市配偶者暴力相談センター

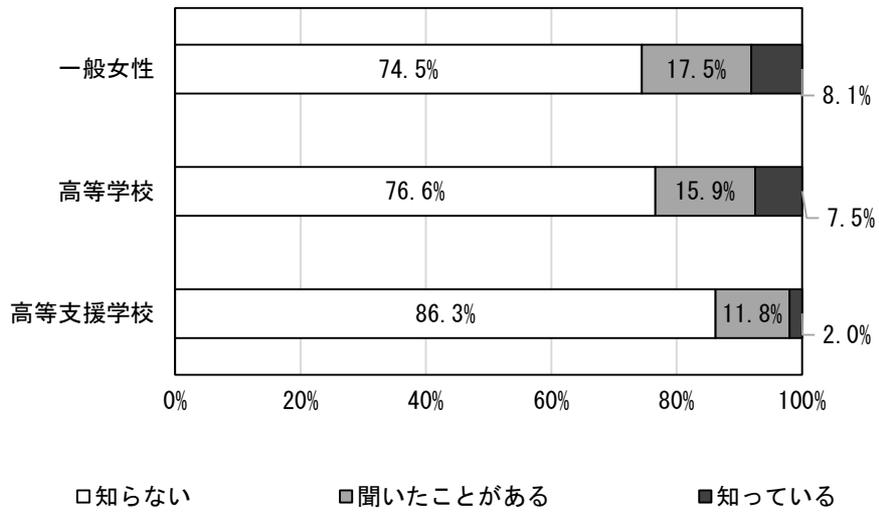


図12カ 北海道立女性相談援助センター

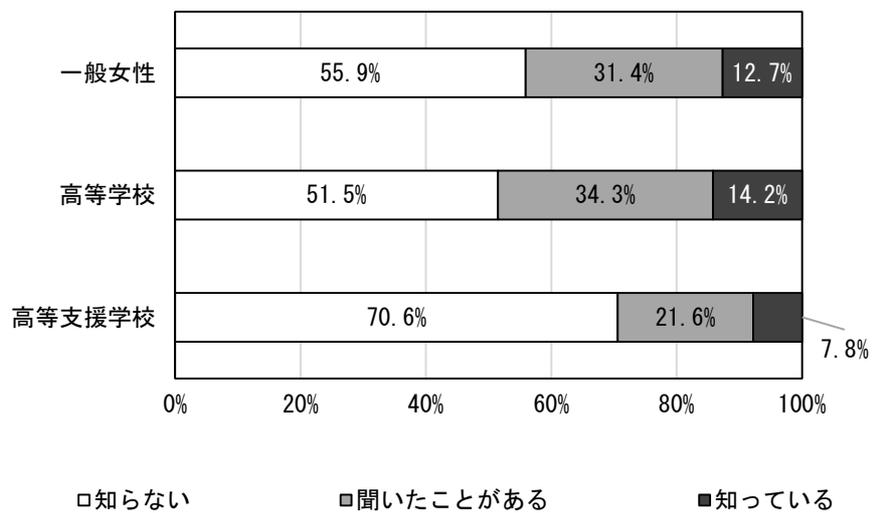


図12キ 女性の人権ホットライン

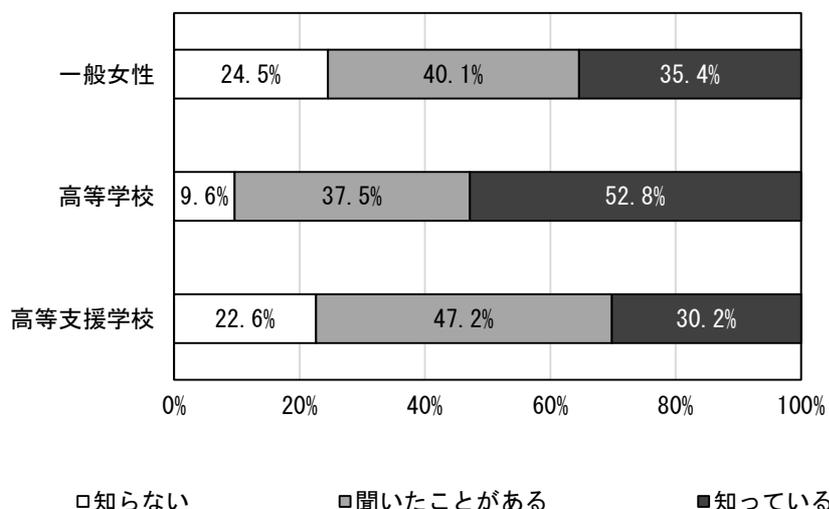


図12ク 子どもの人権110番

D. 補足分析

D-1 嫌な体験と自尊感情の関係

学校、家庭、職場、交際相手、その他における「嫌な経験」が女性自身に与える影響を検討するために、「嫌な経験」と自尊感情の関係を検討しました。

その結果、高等支援学校と高等学校段階の女性においては、学校と家庭での「嫌な経験」が、自尊感情を低下させる関係にありました。特に高等支援学校と高等学校を比較すると、高等支援学校のほうが強い相関がみられました。これは高等支援学校の女性のほうが、より学校や家庭での経験からネガティブな影響を受ける可能性が高いことを表していると考えられます。

一方、一般女性においては、学校、家庭のみならず、職場、交際相手、その他における「嫌な経験」が自尊感情を低下させる関係にみられました。以上のことから、当然ではありますが、「嫌な経験」をもっている人ほど、自尊感情が低いということが分かります。

表 D-1 嫌な体験と自尊感情の関係

	高等支援学校	高等学校	一般女性
学校で今でも思い出すような嫌な体験	-.341*	-.294**	-.293**
家庭で今でも思い出すような嫌な体験	-.352*	-.262**	-.280**
職場・アルバイト先で今でも思い出すような嫌な体験			-.200**
(結婚・)交際相手との関係で今でも思い出すような嫌な体験		-.080*	-.203**
その他の人との関係で今でも思い出すような嫌な体験		-.185**	-.191**

** $p < .01$, * $p < .05$

D-2 家庭の影響

さらに家庭での嫌な体験と他の場所、人との関係における嫌な体験の関係を検討しました。その結果、高等支援学校と高等学校では、家庭で嫌な体験をしていると学校や学校・家庭・職場・交際相手以外のその他の人との関係でも嫌な体験をしている傾向がみられました。さらに一般女性では、すべての場所、人との関係において関連がみられました。

表 D-2 家庭での嫌な体験と他の嫌な体験の関係

	高等支援学校	高等学校	一般女性
学校	.441**	.371**	.370**
職場・アルバイト			.196**
結婚・交際相手			.107**
その他の人	.357**	.243**	.239**

** $p < .01$

次に不安なことに関して、家庭での不安が、他の不安とどのような関係にあるのかを検討しました。その結果、家庭での不安が高いと、他の様々な不安も高くなる傾向がみられました。特に高等支援学校では生活費・学費、自分の病気・体調、相談相手や頼れる人がいないことへの不安と強く関連していました（アルバイトについては人数が少ないので参考値としてみてください）。また高校生については、突出して強い関連があるわけではないですが、すべてとまんべんなく関連していました。最後に一般女性については、不安全体と関連している一方で、特に生活費のこと、相談相手や頼れる人がいないことへの不安と強く関連していました。

表 D-3 家庭での不安と他の不安の関係

	高等支援学校	高等学校	一般女性
将来・進路のこと		.271**	.332**
学校の勉強のこと		.234**	.137**
友だちなどの対人関係	.385**	.347**	.378**
交際相手のこと	.369*	.259**	.355**
生活費や学費のこと	.624**	.301**	.452**
アルバイト・仕事のこと	.489*	.276**	.375**
自分の病気や体調のこと	.416**	.312**	.372**
相談相手や頼れる人がいないこと	.503**	.354**	.424**

** $p < .01$, * $p < .05$

E. 自由記述の分析

方法

調査協力者のうち、179 名が、「その他のことでも困っていることがあれば、以下にご自由にお書きください」という質問に回答しました。

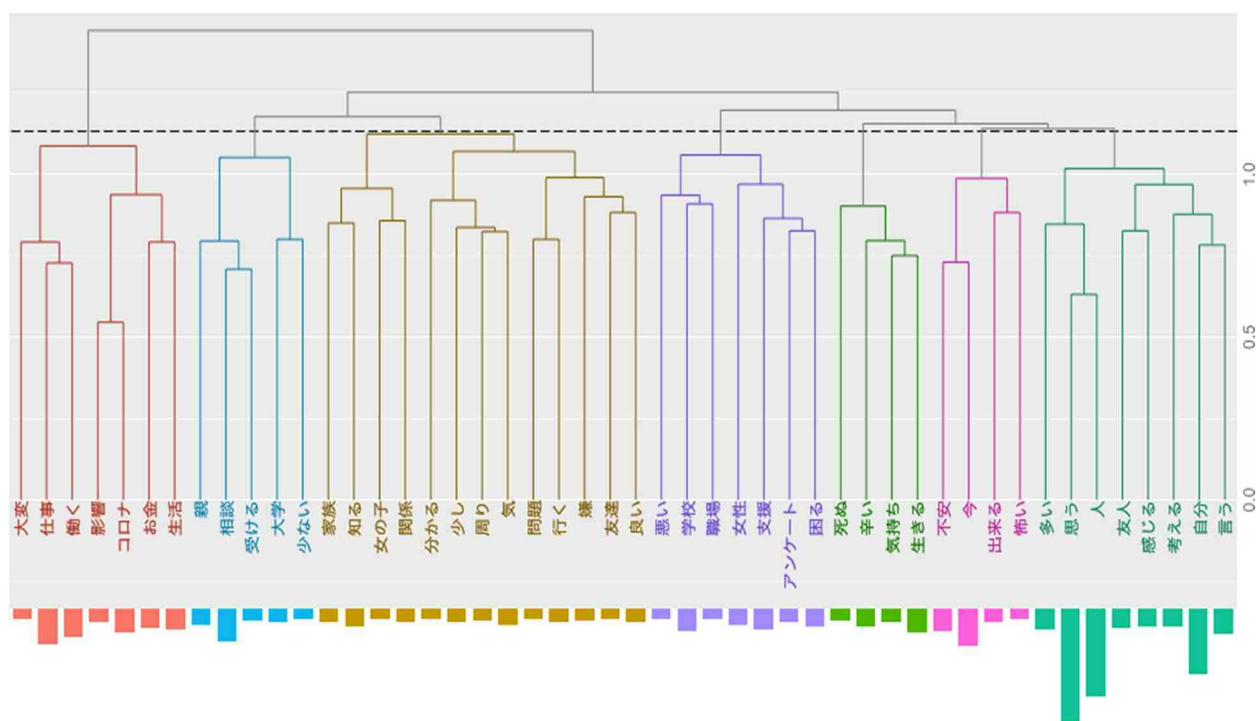
自由記述は KHCoder（樋口、2020）を用いて分析を行いました。

結果

【階層的クラスタ分析】

まず、179 名の自由記述回答から階層的クラスタ分析を行いました。

階層的クラスタ分析では、出現パターンの似た言葉の組み合わせにはどんなものがあったのかを探ることができます。10 人以上が共通して使用していた単語に絞ってこの分析を行ったところ、48 単語から構成される 7 つのクラスター（まとまり）を見出すことができました。



1. 「仕事」「大変」「働く」「影響」「コロナ」「お金」「生活」

1つ目は、「仕事」「大変」「働く」「影響」「コロナ」「お金」「生活」といった単語から構成されるクラスターです。

このクラスターでは、1-1 コロナウイルスの影響で経済的に苦しいという悩み、1-2 収入が少なく生活が苦しい悩み、1-3 奨学金の悩みについての自由記述がみられました。

具体的には、以下のような自由記述がありました。(以下、太字はクラスターに出現した語句を中心に分析者が記載。個人情報保護のため、一部を抜粋して記載した。)

1-1 コロナウイルスの影響で経済的に苦しいという悩み

- コロナの影響で仕事が厳しいから支援がもっと欲しい。
- ・働いていても、お金がない。 ・余裕がない。 ・コロナで仕事がない。
- ・来年からコロナの影響により、給与が下がる事が決まり、経済面でとても不安に感じている。父、母、私それぞれ働いて賄っていたが、母も仕事なくなり無収入などところに私も減給となると今後がとても恐く感じる。・一人暮らしの友人も経済的に不安を感じ身を売る仕事をしていると聞いた。
- コロナの影響で職場の短縮営業や労働日数を減らされ、生活に困窮しつつあります。いくら働いても最低賃金で雇われており、そのうえ職場からは無断で日数を減らされて手取りは最初に契約したものよりもがつつり金額を落とされてしまいました。家族を悲しませてしまうという気持ちが歯止めをかけていますが、風俗的な副業をしようかと考えています。
- コロナで働けない。なのに生活費は必要。でもお金がない。支払いもできない。「コロナ貧乏」給付金が欲しい。
- お金が欲しい。コロナの影響で収入が減り、貧しい生活をよぎなくされている為、精神的にもストレスがたまっている。

1-2 収入が少なく生活が苦しい悩み

- 母親は〇年前に亡くなっている。父親も障害を持っていて働いていない。義務教育がおわってから、ずっとお金で苦勞している。母親が死んでから、今も、ずっとお金で苦しむくらいなら死んでしまいたいと思う。
- 保育関係で働いていましたが仕事が大変なのにも関わらず、給料が安いと思います。
- 仕事で活躍する人間になりたいが、どの仕事も最終的に体調不良になり、長く続けられない。
- お金の不安で体調を崩す ホットできる場所がない(家に) いろいろごちゃごちゃ考えて、誰かに話してスッキリしたいけど皆一緒だと思うと何も言えない。

1-3 奨学金の悩み

- 家計のことで自分の進路(美術大学の進学)に不自由が起きそうとか、自分の進路のためにお金がかかって(予備校や道具などで)家計が圧迫されているなど聞くと、どうしようもない気持ちになる。(中略)奨学金も多額の借金ということも理解している。ただ自分の努力だけでは大学に進学できないこともあるという現実問題に直前しているのだと思うと、とにかく絶望してしまう。
- 国立の大学を卒業しても、妊娠して出産して家庭を持ってしまうと、正社員で就職することも子どもを保育園に預けて働くこともできず、奨学金というバカでかい借金背負っただけで何も良いことがないなと思う。
- 奨学金かりすぎて かえせるか 分からない不安。
- 私は今飲食業の仕事をしています。Wワークしていますが、どちらとも飲食業です。コロナの影響で短時間しか働けなく生活がきびしいです。(中略)奨学金も返済延長したものの、このままだと支払いも出来ません。できても生活ができなくなるのに、〇月まで支払いして下さいと言われてたら、もう生きることすら出来ないのに。飲食業で働いてる人やホテルで働いてる人、生活が苦しい人にもっとお金が欲しいと思う。

2. 「親」「相談」「受ける」「大学」「少ない」

2 つ目は、「親」「相談」「受ける」「大学」「少ない」といった単語から構成されるクラスターです。

このクラスターには、2-1 親・家族に関する悩み、2-2 ひとり親についての悩み、2-3 相談窓口についての意見、2-4 大学生による生活の悩みについての自由記述がみられました。

具体的には、以下のような自由記述がありました。

2-1 親・家族に関する悩み

- 母親と母親の彼氏からお金を搾取され続ける生活から逃げたいです。
- 父親のモラハラが酷い。
- 母親に対して嫌だと思ふ気持ちが消えません。昔からされてきたことを今でも思い出して気持ちが沈みます。
- 家族間で嫌なことをされたとき逃げる先を知らない。
- 家の人から逃げるためにはどうすればよいですか。
- 別居している母が私の弟(知的障害の小学生)に精神的な性的虐待をする時があり、判断に迷っています。
- 前のアルバイトでのセクハラがトラウマなのか働く事が怖い。ハローワークにかよっているが次に進めないままている。家族、親せきから働けと圧がすごくあるが理由を言ったら甘えだつて言われたのがつらい。
- 家族が学生時代にSNSを通じて相手を募集した援助交際でつかまり、成人してから風俗で働き始めました。発達障がいを持つ女の子たちは「自分を認めてほしい」気持ちからそういった所に居場所を求めてしまうことがあります。つかまった時点で、youth+等に通えてたら、何か変わったのかもかもしれません。

2-2 ひとり親についての悩み

- ・シングルマザーなどの人々に対しての支援を意識的にしていただけるとありがたい限りです。(望まなかった妊娠をして、相手に逃げられて、実際に出産しました。)・金銭面での不安が強いです。(子育てする上で一人暮らし等するための仕事等を含める)・保育園などの入園を考えていますが、枠がないと言われ、仕事を探せない為その面の支援を考えてほしい。
- 私は母子家庭であり、物心ついたときからずっと母の働く姿を見てきました。(中略)たくさん働いて体調をこわす母を見るのは心苦しいです。文化的で健康的な生活とは一体何、と考えさせられることが多々あります。1人親世帯への就業先や支援がもう少し強いものであれば、母も生きやすくなるのにと思います。

2-3 相談窓口についての意見

- 私だけでないが親が生活保護を受けている子供たちの自立する方法がなかなか大変なのでなにかしら支援してくれる場所があればいいのと思う。
- 学生の頃、モラハラ、DVの同い年の男性と付き合ったことがありました（中略）。親にも友人にも誰にも相談できずにいて辛かった時期もありました。あのとき、支援を受けられる所を知っていて、助けを求められれば良かったと心から思います。
- 社会人になってから適応障害を発症し、「自分は発達障害なのでは」と思うことはあってもどこに相談すれば良いか分からない。
- LINEでの相談窓口が普及するといいなと時々思います。
- 今付き合っている人が同性なので自分の親、少数の友人以外にあまり相談ができない。
- 気軽に相談できる人、気軽にできるチャット相談が少ないこと。
- 学校の先生からのハラスメントを受けているようですが、誰かに相談すればいいのか分かりません。
- 中学時代のいじめと、幼少期の家庭内不和から、今もうつ病を抱えながら生活しています。本当に死んでしまいたくなった時、いのちの電話・よりそいホットライン・生きづらびっと（LINE）等にアクセスしましたが、つながったためしがありません。どうか、これ以上自殺率を上げない為にも、確実につながれる相談機関を設けて頂けないでしょうか。
- 相談センターのような支援を利用した時、営業時間外で相談を受け付けてくれなかったことが、記憶に残っています。とても辛い状況にあり、今すぐにでも死んでしまいたいとパニックになっている時だったので、余計にショックでした。こういう窓口は昼間ではなく深夜に営業してくれなければ意味が無いと感じます。「相談できる場所がある」と、少し救われた気持ちだが、つき放されたように思いとても傷つきました。
- 相談窓口をもっとアピールして、認知度を上げた方が良いと思います。職場や友人・家族の若い10代～20代前半の人々は相談ができず、一人悩んで心がやんでいる人がたくさんいます。
- 親から向けられる期待や愛情が重くて苦しい場合に頼れる場所がないのが少ししんどいです。人権侵害でも法的な問題でもないので頼りにくいですし、周りに虐待を受けた人や家庭に問題を抱えた人が多いので弱音を吐きづらいです。チャイルドラインぐらい気軽に相談出来る公的な相談窓口があれば嬉しいです。また、人権保護系の団体自体との間に問題が起きた時、どこに頼ればいいのか分からず、そもそもそういった施設全てへの不信感が芽生えて八方塞がりでした。今でもまだそれらに頼るのが怖いです。
- 私は看護系大学に通っているのですが、相談窓口について、ハラスメントの種類などは知

っています。しかし、知識が少ない若い女性はハラスメントや暴力を受けても、公的機関に相談できるケースは少ないと思います。

- 相談窓口を利用することに対して、積極的になれず、悩みを抱え込んでしまうことが多いです。気軽に相談してもよいと思えるような社会にできればいいなと思っています。
- 私は若くして子どもを産みました。今は子育てにもだいぶ慣れたのですが、若い子育て世代にも優しい相談機関やそういった方が集まれる場所がもっとたくさんあるといいのになと思っています。周りの友達も若くして子どもを産み育てているのですが、やはり子育てについて話せる年の近い人が欲しい様でもし、そういった機関ができると嬉しいです。

2-4 大学生による生活の悩み

- 小中高生のように大学生もいつも通りの勉強をしたい。外に出れば若者が責められるようになって。こんなに我慢しているのに。どうして??
- 働きながら学生をしているが、金銭的には親を頼れず昼の仕事に加えて夜の仕事も兼業しながら勉学に勤しんでいる状況で大変つらい。出来ることなら大学・大学院進学に際して生活費や学費の心配をせずに勉強にのみ打ち込みたかった。学生一本でいられる人が羨ましい。
- 学生への支援が少ないこと。成績優秀者への学費支援や生活補助など。また、専門学校や大学進学を目指して、学費を貯める為にフリーターとして働いている人への支援などがあると良い。

3. 「家族」「知る」「女の子」「関係」「分かる」「少し」「周り」「気」「問題」「行く」「嫌」「友達」「良い」

3つ目は、「家族」「知る」「女の子」「関係」「分かる」「少し」「周り」「気」「問題」「行く」「嫌」「友達」「良い」といった単語から構成されるクラスターです。

このクラスターには、3-1 友人からのセクハラやいじめなど、周りの人との関係についての悩みについての自由記述がみられました。

具体的には、以下のような自由記述がありました。

3-1 周りの人との関係についての悩み

- 友人との関係 トラブルがあった本人とはもう問題なく普通だが、その周りの友人からの目が気になる。
- 中学生から仲の良かった異性の友達から幾度もセクハラを受けました。相手が友達だからこそ、限界になるまで何もできませんでした。(中略) 今も PTSD のような症状があり、スクールカウンセラーを利用していますが、受験を控えた焦りもあり、精神的に参っています。
- 中学時代にあったいじめの影響のせいか、恋人も友人のことも信用できず、最近はずっと自己嫌悪と劣等感と疎外感を感じていて、しんどいになって、こんな自分が嫌いすぎて困っています。
- 小学校～大学生まで、体をさわられたり、見た目を貶められたり自分自身もされましたし、他の子がされているのを見ました。(中略) 性的ハラスメントの根本にある軽薄な観念のようなものが早く直ってほしいです。

4. 「悪い」「学校」「職場」「女性」「支援」「アンケート」「困る」

4つ目は、「悪い」「学校」「職場」「女性」「支援」「アンケート」「困る」といった単語から構成されるクラスターです。

このクラスターには、4-1 学校生活に関する悩み、4-2 性に関する悩み・意見、についての自由記述がみられました。

具体的には、以下のような自由記述がありました。

4-1 学校生活に関する悩み

- 学校で冬に窓開けられると寒くて体が冷える 生理の時とか特に困る。
- 吃音があり、学校の様々な場面で何度も辛い思いをしてきました。学校は吃音のある人に優しくありません。吃音のある人が学校で辛い思いをすることのないように工夫してほしいとずっと思い続けています。
- 学校がいやだ。しんろがこわい。しんろで学校がいやなわけじゃないけれど、いやなことが積みかさなるととてもいやになる。なんか学校つかれた。

4-2 性に関する悩み・意見

- 女性らしく、男性らしくを強調されること。クラスメイトの男子同士の距離が近いと担任が「気持ち悪いから離れなさい」と言うこと。学校側はLGBTQやセクマイの配慮が全くないこと。自分が過ごしたい、生きたいと思う性で学校生活を送れないということ。
- もっと具体的で正しい性教育を学校で行うべきだと思う。
- 性教育について、学校や職場、市としても行う必要があると思います。婦人科検診について、知らない人が多いと思う。引越しをしてきて、通知など何もなかったため、自主的に調べた。新しく来た方にも、検診について、教えて頂きたいと思いました。
- ・性教育について学校でちゃんと教えてくれたらいいのと思う。(中略)正しい知識で自分も相手も守りたいけど、ネットには間違った情報もあるからどうしたらいいかわからない。
- 性違和感というか女性であることが時々くるしいですね。(中略)学校ではスラックスをはいたり、ネクタイ(リボンじゃなくて)を付けて登校してるので女性として自分をいしきしなくて済むようになり、結果的に違和感は大分おさまりましたが。

4-3. アンケートについての意見

- このアンケートをお金かけて集計、分析するのならちゃんと何かしらの支援や制度改正につなげてほしいです。よろしくおねがいします。
- このアンケートに回答が無かった方々で困っている方々が居ると思うので、その

方々に支援が必要か否か確認したら良いのではと思います。学校や職場での嫌な目にあった経験は、近年取りざたされている、ADHD や学習障害のようなことも関わるがあると思っているので、カウンセリングのような人に会う機会を増やしてもらえたらと思います。

- このアンケートをとって一体なにになるのでしょうか。素直に気になるところです。表面に「支援の方法を考えていく」と記載されていますが、私たちには具体的にどんな支援があるのか知らされないのでしょうか。
- もし、今後こういったアンケートで何かしらの活動をするのであれば意識を変えるための取り組みを行わないと根本的に解決しないのかなと思います。

5. 「死ぬ」「辛い」「気持ち」「生きる」

5つ目は、「死ぬ」「辛い」「気持ち」「生きる」といった単語から構成されるクラスターです。このクラスターには、5-1 現在の辛い気持ちについての自由記述がみられました。

具体的には、以下のような自由記述がありました。

5-1 現在の辛い気持ち

- 周期的に漠然とした不安感、自分には全く価値がない、容姿が酷すぎて外に出られない、死にたい（生きていたくない）ような気持ちになり涙が止まらなくなったり学校を休んでしまうことがあるが、それが何によるものなのか分からない上に自分以上に辛い思いをしている人は大勢いる中で自分なんかが医療機関などに相談するのは申し訳ないと思い相談しようか迷っているうちに元気になるというのを繰り返して毎回苦しい、それが起きるたびに交際相手に強く当たってしまったりして罪悪感でまた落ち込む 本当に毎回苦しい。
- 死にたいと思うことがよくある。
- 児童養護施設が辛いです。
- 会食恐怖症が辛い。
- クラスで“すごく仲良い人”がいなくて、それなりの人しかいなくてすごく居心地が悪くて嫌な1年でした。辛い1年でした。一緒にいてつまらないって本人に言える訳でもないし辛かったです。周りにも相談しにくくて言いにくかったです。

6. 「不安」「今」「出来る」「怖い」

6 つ目は、「不安」「今」「出来る」「怖い」といった単語から構成されるクラスターです。このクラスターには、現在の不安な気持ちについての自由記述がみられました。具体的には、以下のような自由記述がありました。

6-1 現在の不安な気持ち

- 就職活動が不安で仕方がないです。
- 生きている理由や、存在意義、何をを目指しているのかが分からない状態で、ずっと暗闇を歩いているみたいです。毎日、漠然とした不安があります。
- 離婚調停中で不安。財産分与で学費がなくなりそうで勉強が面倒になった。
- 誰かにいじめられるかが、不安です…。
- 痴漢って現行犯逮捕じゃないと立証が難しいとは知っていたのですが、された時には頭が真っ白になって声が出なかったのを覚えています。地下鉄一駅とは言ってもとても長く感じましたし、自分よりは30は上であろうサラリーマンがということでもとても怖かったです。満員電車でぶつかってるだけだと思っていたらスカートの中に手があってお尻を触られていました。降りる時の表情の変わらなさやバレないような程度から常習犯だろうとは思いますが、今は満員電車にはない状況で安心できますが、元通りになった時にどう避ければ良いのかは不安です。
- 今現在コロナ禍でバス内にマスクを着用していない人をよく見かけます。何れにしてもこのままではクラスターが発生してしまうのではと不安です。もう少し注意喚起を促す広告が欲しいと思っています。
- コロナウィルスの影響で、色々なことに気を遣い、ストレスが多い。特に、自身が気をつけているにも関わらず、周囲の目に見える他の人がマスクをしていなかったり、大勢で移動しているのを見かけると、危機感のなさに苛立ちが募る。若年層はもちろんだが、重症者の多い高齢の方にも見受けられるにも関わらず、世間では若年層ばかりが注目されていることにも納得がいかない。
- 今の職場を辞めて転職したいが、このコロナの影響でちゃんとした所に転職できるのか不安。
- 自分が将来子どもを産んで、今の小、中学校の問題（いじめ、引きこもり、先生の質など）を考えると不安になる。

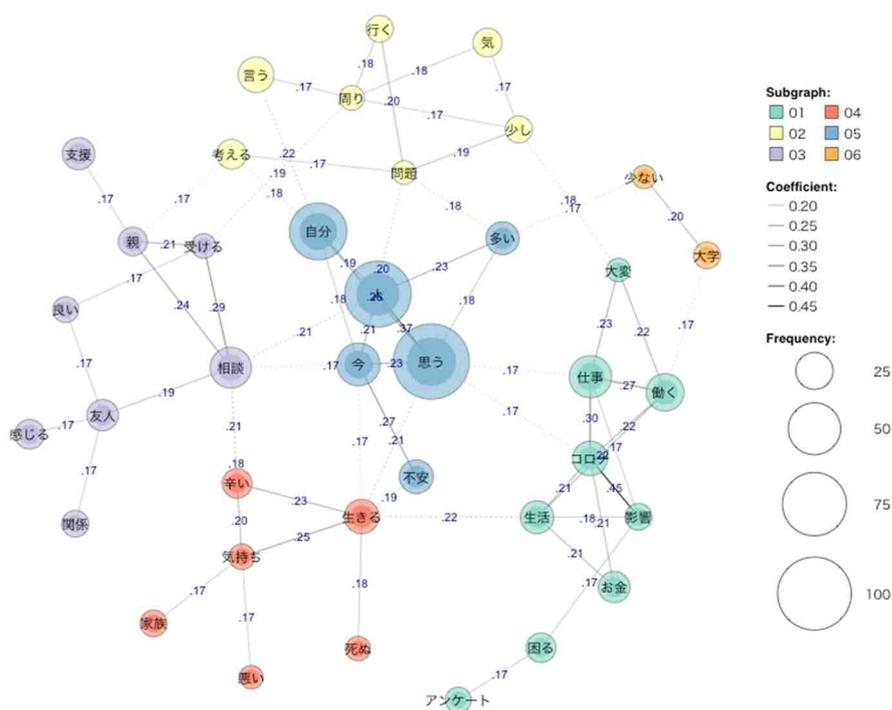
7. 「多い」「思う」「人」「友人」「感じる」「考える」「自分」「言う」

7つ目は、「多い」「思う」「人」「友人」「感じる」「考える」「自分」「言う」といった単語から構成されるクラスターです。

このクラスターは、ここまで紹介してきたクラスターにまとまらなかった一般的な語がまとめられたものであると考えられます。

【共起ネットワーク分析】

次に、共起ネットワーク分析を行いました。共起ネットワーク分析は、一緒に出現している頻度が高い語を線で結んだネットワークを描く分析です。線につながっている2つの単語は、自由記述の中で同じ人の回答の中に出てきていたということです。図に表示されている数値が高ければ高いほど、また線の太さが太ければ太いほど、2つの語に強い関係がみられたということです。円の大きさは、その語を含む回答が多かったということを意味しています。なお、円と円が近くにあっても、線で結ばれていなければ関係はみられなかったということです。



階層的クラスター分析と同様に、「コロナ」という単語と、「仕事」「働く」「生活」「影響」「お金」という単語の関連性が高いということがわかります。すなわち、コロナについての悩みについて自由記述に書いた人の多くは、コロナに関連して仕事や生活に影響が出ていることについて記載していたということです。

また、「相談」という単語と、「親」「友人」という単語に関連性がみられました。具体的

な記述では、上記の具体例で挙がっていたように、「親や友達関係について相談したい」という声と、「親や家族には相談できないことについて相談したい」という声がありました。さらに、「相談」という単語は「辛い」という単語、「辛い」という単語は「気持ち」「生きる」に関連性があります。上記の具体例においては、「辛い」状況にはひとまとまりにできない多様性がありました。親や友人、またそのほかの生活に関わることについて、気軽に相談できる窓口が周知されていること、また相談窓口に支援を求めようとしたときにそれが実際に繋がる状態になっていることが重要であると考えられます。

札幌市思春期・若年期の女性を対象とした意識に関する調査 (19歳~24歳用)

■調査の目的

- ・このアンケートは、札幌市にお住まいの10代後半から20代前半の女性の方々の生活や、現在不安に思っていること、これまでにあった嫌な経験、その時に相談できたかどうか、そして、会員制交流サイト(SNS)などで出会いを求める書き込みに関することについてお聞きするものです。
- ・皆さんの声をもとに、様々な困りごとを抱えている方や、被害に遭ったまたは遭う恐れのある方など、10代後半から20代前半の女性への支援の方法について、札幌市として考えていきますので、ご協力をお願いします。

■回答にあたってのお願い

- ・封筒の宛名の方がご回答ください。
- ・あなたのことについて、現在や過去にあったできごとの状況について答えてください。(一部の質問では、あなたの周囲の状況についてお聞きしています。)
- ・答えたくない質問に答える必要はありません。
- ・答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選んでください。
- ・質問の答えとして当てはまる番号に○をつけてください。
- ・() 内には具体的な内容を書いてください。

■回答方法

- ・調査票は、令和3年1月4日(月)までに同封の返信用封筒にて投函願います。
- ・このアンケートは、ウェブフォームにてご回答いただくことも可能です。スマートフォン、PCから右の二次元バーコードまたは<https://questant.jp/q/WB3X6LG6>にアクセスしてください。



■その他

- ・この調査票は、札幌市内にお住まいの19歳から24歳の女性の中から3,000人をかたよりにくく選びお送りしております。
- ・調査票へのご回答は統計的に処理するため、個人が特定される形で公表されることはありません。
- ・本調査は、札幌市と北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターが共同で実施し、集計業務は、reward株式会社に委託しています。

■他の言語の調査票(Surveys in other languages、其他语言问卷、타언어조사표)

他の言語の調査票をご希望の方は、下記連絡先までご連絡ください。

If you would like to complete the survey in another language, please send an email the address below.

如果您需要其他语言问卷，请致电以下部门。

다른 언어로 된 조사표를 희망하시는 분은 아래 연락처로 연락해 주십시오.

<お問合せ先>

札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課(担当:中村、馬場)

電話:011-211-2982(受付時間:月~金曜日〔祝日除く〕8:45~17:15)

E-mail:kodomo.jisedai@city.sapporo.jp

問2 あなたにとって大切だと思っている人についてお聞きします。あてはまる番号すべてに

○をつけてください。

1. 親
2. きょうだい
3. 祖父母
4. 夫
5. 子
6. 友人
7. 交際相手
8. インターネット上のみでの知人
9. その他（具体的に)
10. 大切だと思っている人はいない

問3 今のあなたにとって不安だと感じていることについてお聞きします。あてはまる番号に

○をつけてください。

	まったく不安ではない	どちらかという不安ではない	どちらともいえない	どちらかという不安だ	とても不安だ	自分にはあてはまらない
ア. 将来のこと	1	2	3	4	5	6
イ. 学校の勉強のこと	1	2	3	4	5	6
ウ. 友達などの対人関係	1	2	3	4	5	6
エ. 家庭のこと	1	2	3	4	5	6
オ. 交際相手のこと	1	2	3	4	5	6
カ. 生活費や学費のこと	1	2	3	4	5	6
キ. アルバイト・仕事のこと	1	2	3	4	5	6
ク. 自分の病気や体調のこと	1	2	3	4	5	6
ケ. 相談相手や頼れる人がいないこと	1	2	3	4	5	6

問4 あなたが安心できる・ほっとできる場所についてお聞きします。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 家庭
2. 祖父母の家
3. 友人や先輩の家
4. 交際相手の家
5. アルバイト先
6. 習い事
7. カフェなどのお店
8. 匿名でつながってられるインターネット掲示板や SNS
9. その他 ()
10. 安心できる・ほっとできる場所はない

問6 あなたが子ども時代を過ごした家庭での体験についておたずねします。

(1) 家庭のことで今でも思い出すような嫌な経験をしたことはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. まったくない 2. 一度だけある 3. 時々ある 4. よくある

(2) (1) で2~4に○をつけた人におたずねします。その嫌な経験に以下のことは関係していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- ア. 家計の問題 1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある
イ. 両親の不仲 1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある
ウ. 両親の間での暴力 1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある
エ. 親・きょうだいなど家族からの暴力や暴言
1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある
オ. 親や家族からの物理的・精神的な支配
1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある

(3) (1) で2~4に○をつけた人におたずねします。そのことをあなたは相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 相談をした 2. 相談はしたかったが、できなかった 3. 相談しようとも思わなかった

(4) (3) で1に○をつけた人におたずねします。以下の人たちにどれくらい相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- ア. 親 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
イ. きょうだい 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
ウ. 友人 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
エ. 交際相手 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
オ. 学校の先生 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
カ. 保健室の先生 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
キ. 公的な相談機関 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
ク. 民間の相談機関 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
ケ. 職場・アルバイト先の人 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
コ. 医療機関 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
サ. 警察 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
シ. 匿名で相談できるインターネット掲示板やSNS
1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
ス. その他 ()

問9 学校・家庭・職場・交際相手以外、その他の人との体験についておたずねします。

(1) その他の人との関係で今でも思い出すような嫌な経験をしたことはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. まったくない 2. 一度だけある 3. 時々ある 4. よくある

(2) (1) で2～4に○をつけた人におたずねします。その嫌な経験に以下のことは関係していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- ア. 相手からの暴力 1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある
イ. 相手からの物理的・精神的支配
1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある
ウ. 金銭的な問題 1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある
エ. セクシュアル・ハラスメントや性的な被害
1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある

(3) (1) で2～4に○をつけた人におたずねします。そのことをあなたは相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 相談をした 2. 相談はしたかったが、できなかった 3. 相談しようとも思わなかった

(4) (3) で1に○をつけた人におたずねします。以下の人たちにどれくらい相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- ア. 親 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
イ. きょうだい 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
ウ. 友人 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
エ. 交際相手 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
オ. 学校の先生 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
カ. 保健室の先生 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
キ. 公的な相談機関 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
ク. 民間の相談機関 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
ケ. 職場・アルバイト先の人 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
コ. 医療機関 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
サ. 警察 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
シ. 匿名で相談できるインターネット掲示板やSNS
1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした
ス. その他 ()

(5) その人はあなたとどのような関係にある人ですか。さしつかえなければ教えてください。
()

問 10 SNSやアプリなどで出会いを求める書き込みについておたずねします。

(1) あなたは、いわゆる「神まち」や「パパ活」といったインターネット上で出会いを求める書き込みを表す言葉を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 意味を知っている
2. 聞いたことがあるが意味は知らない
3. 聞いたことがない

(2) あなたの周りにいる方で、いわゆる「神まち」や「パパ活」といったインターネット上で出会いを求める書き込みをしている方がいますか。または、過去にいましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 一人もいない
2. 一人はいる
3. 複数人いる
4. 噂だけは聞いたことがある

(3) あなたは、いわゆる「神まち」や「パパ活」といったインターネット上で出会いを求める書き込みをする行為をする理由をどのようなものだと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

	まったく そう思わない	あまりそう 思わない	どちらとも いえない	まあ そう思う	とても そう思う
ア. お金のためだから	1	2	3	4	5
イ. 居場所がないから	1	2	3	4	5
ウ. 自分の意思でやっているから	1	2	3	4	5
エ. みんなやっていることだから	1	2	3	4	5

(4) あなたは、「神まち」や「パパ活」といったインターネット上で出会いを求める書き込みをする行為について、どのように思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

	まったく そう思わない	あまりそう 思わない	どちらとも いえない	まあ そう思う	とても そう思う
ア. 仕方なくやっていることだと思う	1	2	3	4	5
イ. 問題ないと思う	1	2	3	4	5
ウ. 危険な目に遭う可能性があると思う	1	2	3	4	5
エ. 親や家族を悲しませるかもしれないと思う	1	2	3	4	5
オ. 支援が必要だと思う	1	2	3	4	5
カ. やるべきではないと思う	1	2	3	4	5

問 11 以下の質問について、あなた自身にどれくらいあてはまるかを答えてください。他の人からどう見られているかではなく、あなたが、あなた自身をどのように思っているかを、ありのままに答えてください。

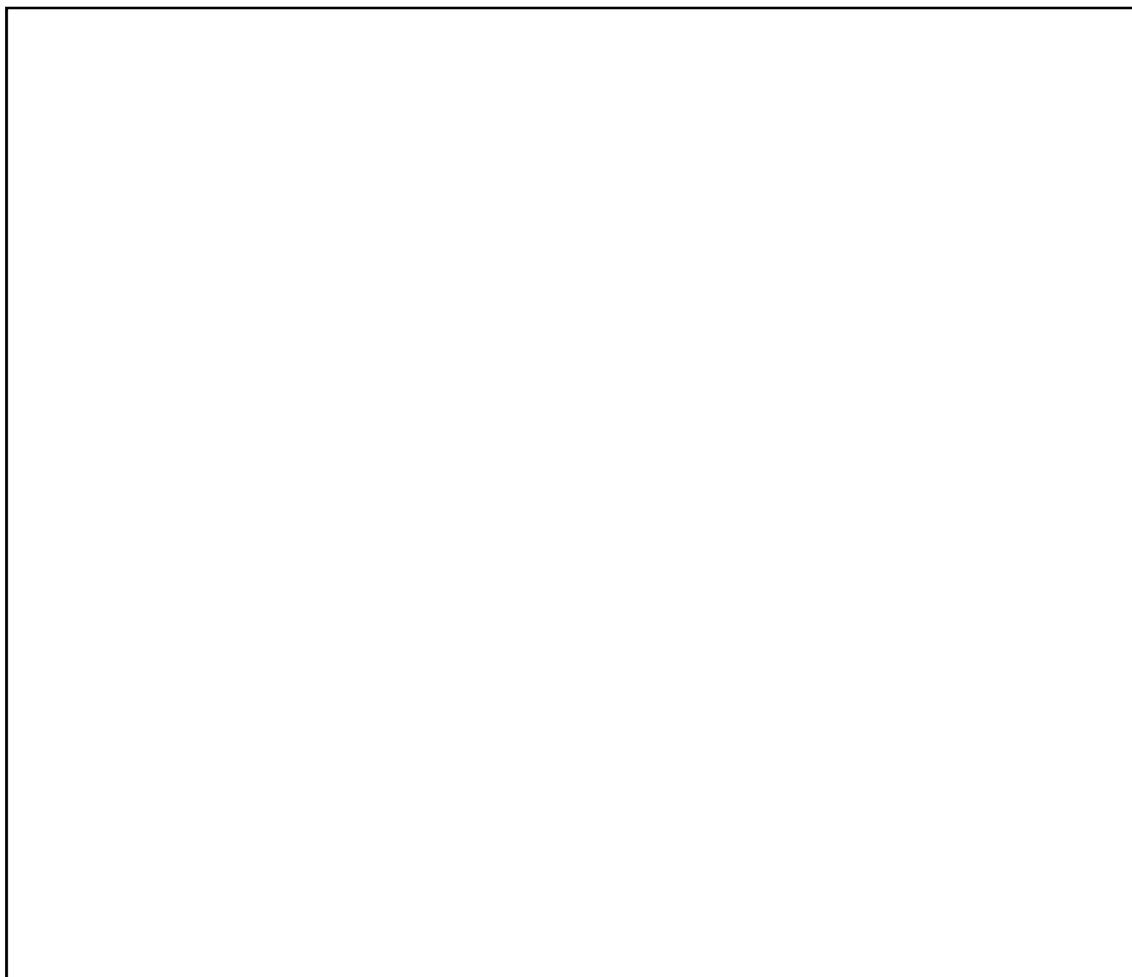
	まったく そう思わない	あまりそう 思わない	どちらとも いえない	まあ そう思う	とても そう思う
ア. 少なくとも人並みには、価値のある人間である	1	2	3	4	5
イ. いろいろな良い素質をもっている	1	2	3	4	5
ウ. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う	1	2	3	4	5
エ. だいたいにおいて、自分に満足している	1	2	3	4	5
カ. 物事を人並みには、うまくやれる	1	2	3	4	5

C. 相談窓口について

問 12 それぞれの公的機関の窓口について知っていますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

	知らない	聞いたことがある	知っている
ア. ガールズ相談	1	2	3
イ. 子どもアシストセンター	1	2	3
ウ. 札幌市若者支援施設 (Youth+)	1	2	3
エ. 性暴力被害者支援センター北海道 (SACRACH さくらこ)	1	2	3
オ. 札幌市配偶者暴力相談センター	1	2	3
カ. 北海道立女性相談援助センター	1	2	3
キ. 女性の人権ホットライン	1	2	3
ク. 子どもの人権 110 番	1	2	3

問 13 その他のことで困っていることがあれば、以下にご自由にお書きください（日本語以外の言語での記入も可能です）。

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for the respondent to write their answer to Question 13. The box is currently blank.

札幌市思春期・若年期の女性を対象とした意識に関する調査
 （高等学校・高等支援学校に通学する生徒用）

■調査の目的

- このアンケートは、皆さんの生活や、現在不安に思っていること、これまでにあった嫌な経験、その時に相談できたかどうか、そして、会員制交流サイト（SNS）などで出会いを求める書き込みに関するについてお聞きするものです。
- 皆さんの声をもとに、様々な困りごとを抱えている方や、被害に遭った又は遭う恐れのある方など、10代後半から20代前半の女性への支援の方法について、札幌市として考えていきますので、ご協力をお願いします。

■回答にあたってのお願い

- あなたのことについて、現在や過去にできごとの状況について教えてください。（一部の質問では、あなたの周囲の状況についてお聞きしています。）
- 答えたくない質問に答える必要はありません。
- 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選んでください。
- アンケートに回答いただくことによって、個人が特定されることもありませんし、答えた内容を他の人に知られることはありません。
- 質問の答えとしてあてはまる番号に○をつけてください。
- () 内には具体的な内容を書いてください。
- この調査票は、令和3年1月4日（月）までに同封の返信用封筒にて投函してください。

この調査は、札幌市と北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターが共同で実施し、集計業務は、reward株式会社に委託しています。
 内容に関するお問合せは下記の連絡先までお願いいたします。

<お問合せ先>

札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課（担当：中村、馬場）

電話：011-211-2982（受付時間：月～金曜日〔祝日除く〕8：45～17：15）

E-mail:kodomo.jisedai@city.sapporo.jp

↑
折り線

折り線
↓

A. あなたご自身とご家族の状況についてうかがいます。

問1 あなたのことについてお聞きします。

(1) お住まいの区・市町村はどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。また、札幌市以外にお住まいの方は、「11」に○をつけて、お住まいの市町村名を記入してください。

1. 中央区
2. 北区
3. 東区
4. 白石区
5. 厚別区
6. 豊平区
7. 清田区
8. 南区
9. 西区
10. 手稲区
11. 札幌市以外 (市・町・村)

(2) あなたの学年に○をつけてください。

1. 1年生
2. 2年生
3. 3年生
4. 4年生

(3) あなたが現在、一緒に住んでいる方はどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父
2. 母
3. きょうだい
4. 祖父母
5. 親せき
6. 下宿や寮などにひとりで住んでいる
7. その他 (具体的に)

問2 あなたにとって大切だと思っている人についてお聞きします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親
2. きょうだい
3. 祖父母
4. 友人
5. 交際相手
6. インターネット上のみでの知人
7. その他 (具体的に)
8. 大切だと思っている人はいない

問3 今のあなたにとって不安だと感じていることについてお聞きします。あてはまる番号に○をつけてください。

	まったく不安ではない	どちらかという不安ではない	どちらともいえない	どちらかという不安だ	とても不安だ	自分にはあてはまらない
ア. 進路のこと	1	2	3	4	5	6
イ. 学校の勉強のこと	1	2	3	4	5	6
ウ. 友達などの対人関係	1	2	3	4	5	6
エ. 家庭のこと	1	2	3	4	5	6
オ. 交際相手のこと	1	2	3	4	5	6
カ. 生活費や学費のこと	1	2	3	4	5	6
キ. アルバイトのこと	1	2	3	4	5	6
ク. 自分の病気や体調のこと	1	2	3	4	5	6
ケ. 相談相手や頼れる人がいないこと	1	2	3	4	5	6

問4 あなたが安心できる・ほっとできる場所についてお聞きします。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 家庭
2. 祖父母の家
3. 友人や先輩の家
4. 交際相手の家
5. アルバイト先
6. 塾や習い事
7. カフェなどのお店
8. 匿名でつながってられるインターネット掲示板やSNS
9. その他 ()
10. 安心できる・ほっとできる場所はない

B. これまでの体験や周囲の状況について

問5 学校での体験についておたずねします。

(1) 学校で今でも思い出すような嫌な経験をしたことはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. まったくない 2. 一度だけある 3. 時々ある 4. よくある

(2) (1) で2～4に○をつけた人におたずねします。その嫌な経験に以下のことは関係していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------------------|---------|-----------|------------|
| ア. いじめ | 1. 関係ない | 2. 少し関係ある | 3. とても関係ある |
| イ. 先生とのトラブル | 1. 関係ない | 2. 少し関係ある | 3. とても関係ある |
| ウ. いじめ以外の人間関係のトラブル | 1. 関係ない | 2. 少し関係ある | 3. とても関係ある |
| エ. 部活動でのトラブル | 1. 関係ない | 2. 少し関係ある | 3. とても関係ある |
| オ. セクシュアル・ハラスメントや性的な被害 | 1. 関係ない | 2. 少し関係ある | 3. とても関係ある |

(3) (1) で2～4に○をつけた人におたずねします。そのことをあなたは相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 相談をした 2. 相談はしたかったが、できなかった 3. 相談しようとも思わなかった

(4) (3) で1に○をつけた人におたずねします。以下の人たちにどれくらい相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------------|-----------|---------|-----------|
| ア. 親 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| イ. きょうだい | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| ウ. 友人 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| エ. 交際相手 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| オ. 学校の先生 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| カ. 保健室の先生 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| キ. 公的な相談機関 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| ク. 民間の相談機関 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| ケ. 職場・アルバイト先の人 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| コ. 医療機関 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| サ. 警察 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| シ. 匿名で相談できるインターネット掲示板やSNS | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| ス. その他 () | | | |

問6 家庭での体験についておたずねします。

(1) 家庭のことで今でも思い出すような嫌な経験をしたことはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. まったくない 2. 一度だけある 3. 時々ある 4. よくある

(2) (1) で2～4に○をつけた人におたずねします。その嫌な経験に以下のことは関係していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------------------|---------|-----------|------------|
| ア. 家計の問題 | 1. 関係ない | 2. 少し関係ある | 3. とても関係ある |
| イ. 両親の不仲 | 1. 関係ない | 2. 少し関係ある | 3. とても関係ある |
| ウ. 両親の間での暴力 | 1. 関係ない | 2. 少し関係ある | 3. とても関係ある |
| エ. 親・きょうだいなど家族からの暴力や暴言 | 1. 関係ない | 2. 少し関係ある | 3. とても関係ある |
| オ. 親や家族からの物理的・精神的な支配 | 1. 関係ない | 2. 少し関係ある | 3. とても関係ある |

(3) (1) で2～4に○をつけた人におたずねします。そのことをあなたは相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 相談をした 2. 相談はしたかったが、できなかった 3. 相談しようとも思わなかった

(4) (3) で1に○をつけた人におたずねします。以下の人たちにどれくらい相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------------|-----------|---------|-----------|
| ア. 親 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| イ. きょうだい | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| ウ. 友人 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| エ. 交際相手 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| オ. 学校の先生 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| カ. 保健室の先生 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| キ. 公的な相談機関 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| ク. 民間の相談機関 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| ケ. 職場・アルバイト先の人 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| コ. 医療機関 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| サ. 警察 | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| シ. 匿名で相談できるインターネット掲示板やSNS | 1. まったくない | 2. 少しした | 3. たくさんした |
| ス. その他 () | | | |

問9 学校・家庭・職場・交際相手以外、その他の人との体験についておたずねします。

(1) その他の人との関係で今でも思い出すような嫌な経験をしたことはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. まったくない 2. 一度だけある 3. 時々ある 4. よくある

(2) (1) で2～4に○をつけた人におたずねします。その嫌な経験に以下のことは関係していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

ア. 相手からの暴力 1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある

イ. 相手からの物理的・精神的支配

1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある

ウ. 金銭的な問題

1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある

エ. セクシュアル・ハラスメントや性的な被害

1. 関係ない 2. 少し関係ある 3. とても関係ある

(3) (1) で2～4に○をつけた人におたずねします。そのことをあなたは相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 相談をした 2. 相談はしたかったが、できなかった 3. 相談しようとも思わなかった

(4) (3) で1に○をつけた人におたずねします。以下の人たちにどれくらい相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

ア. 親 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

イ. きょうだい 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

ウ. 友人 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

エ. 交際相手 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

オ. 学校の先生 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

カ. 保健室の先生 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

キ. 公的な相談機関 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

ク. 民間の相談機関 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

ケ. 職場・アルバイト先の人 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

コ. 医療機関 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

サ. 警察 1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

シ. 匿名で相談できるインターネット掲示板やSNS

1. まったくない 2. 少しした 3. たくさんした

ス. その他 ()

(5) その人はあなたとどのような関係にある人ですか。さしつかえなければ教えてください。
()

問10 SNSやアプリなどで出会いを求める書き込みについておたずねします。

(1) あなたは、いわゆる「神まち」や「パパ活」といったインターネット上で出会いを求める書き込みを表す言葉を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 意味を知っている
2. 聞いたことがあるが意味は知らない
3. 聞いたことがない

(2) あなたの周りの方で、いわゆる「神まち」や「パパ活」といったインターネット上で出会いを求める書き込みをしている方がいますか。または、過去にいましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 一人もいない
2. 一人はいる
3. 複数人いる
4. 噂だけは聞いたことがある

(3) あなたは、いわゆる「神まち」や「パパ活」といったインターネット上で出会いを求める書き込みをする行為をする理由をどのようなものだと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

	まったく そう思わない	あまりそう 思わない	どちらとも いえない	まあ そう思う	とても そう思う
ア. お金のためだから	1	2	3	4	5
イ. 居場所がないから	1	2	3	4	5
ウ. 自分の意思でやっているから	1	2	3	4	5
エ. みんなやっていることだから	1	2	3	4	5

(4) あなたは、「神まち」や「パパ活」といったインターネット上で出会いを求める書き込みをする行為について、どのように思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

	まったく そう思わない	あまりそう 思わない	どちらとも いえない	まあ そう思う	とても そう思う
ア. 仕方なくやっていることだと思う	1	2	3	4	5
イ. 問題ないと思う	1	2	3	4	5
ウ. 危険な目に遭う可能性があると思う	1	2	3	4	5
エ. 親や家族を悲しませるかもしれないと思う	1	2	3	4	5
オ. 支援が必要だと思う	1	2	3	4	5
カ. やるべきではないと思う	1	2	3	4	5

問11 以下の質問について、あなた自身にどれくらいあてはまるかを答えてください。他の人から どう見られているかではなく、あなたが、あなた自身をどのように思っているかを、ありのままに答えてください。

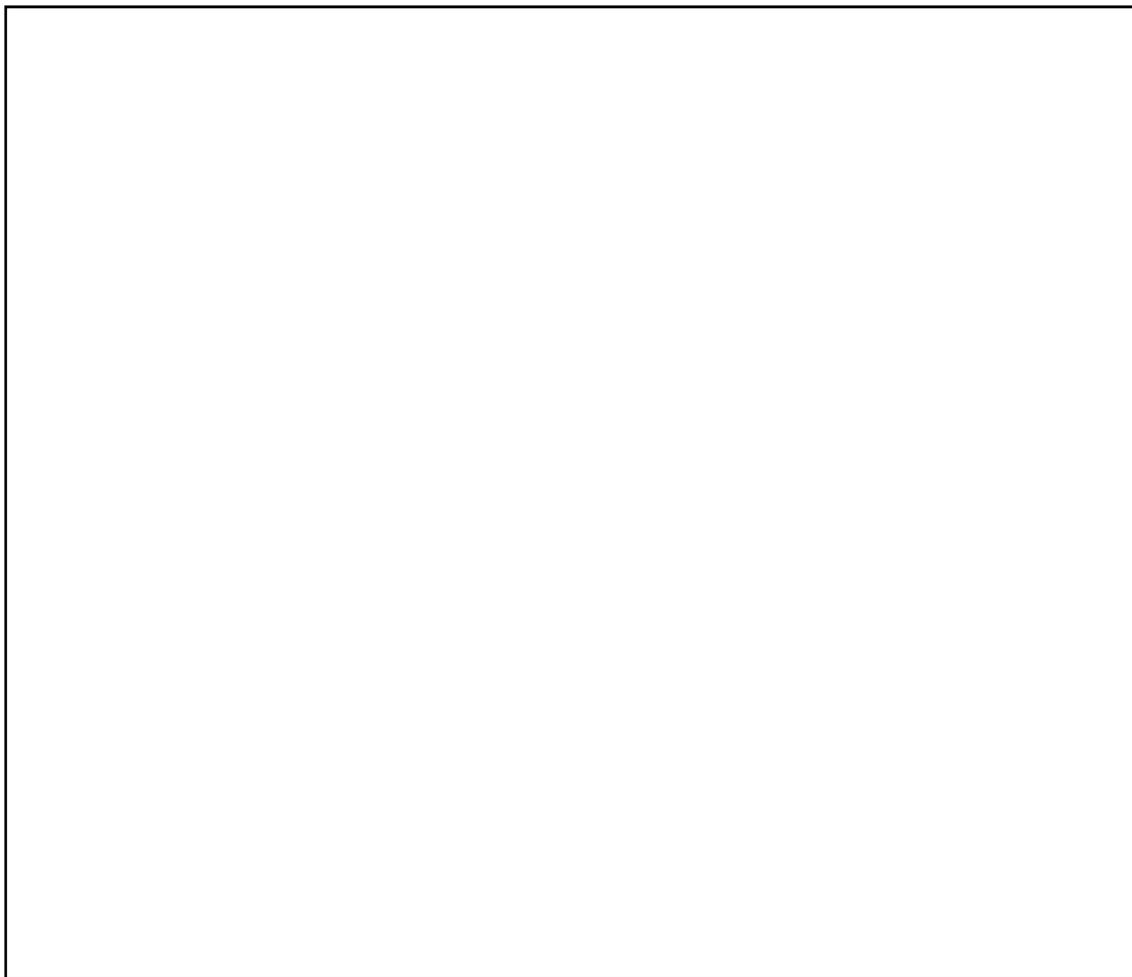
	まったく そう 思わない	あまり そう 思わない	どちら とも いえ ない	まあ そう 思 う	と ても そう 思 う
ア. 少なくとも人並みには、価値のある人間である	1	2	3	4	5
イ. いろいろな良い素質をもっている	1	2	3	4	5
ウ. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う	1	2	3	4	5
エ. だいたいにおいて、自分に満足している	1	2	3	4	5
カ. 物事を人並みには、うまくやれる	1	2	3	4	5

C. 相談窓口について

問12 それぞれの公的機関の窓口について知っていますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

	知らない	聞いたことがある	知っている
ア. ガールズ相談	1	2	3
イ. 子どもアシストセンター	1	2	3
ウ. 札幌市若者支援施設 (Youth +)	1	2	3
エ. 性暴力被害者支援センター北海道 (SACRACH さくらこ)	1	2	3
オ. 札幌市配偶者暴力相談センター	1	2	3
カ. 北海道立女性相談援助センター	1	2	3
キ. 女性の 인권ホットライン	1	2	3
ク. 子どもの 110 番	1	2	3

問13 とい 其他のことで困っていることがあれば、以下にご自由にお書きください（日本語以外
ばんごの言語での記入も可能です）。



あなたの声を
聞かせてください。



アンケート調査
ご協力のお願い

札幌市思春期・若年期の女性を対象とした意識に関する調査

アンケート回答先

〈スマートフォンの方〉

右側の
二次元コードを
スマートフォンで
読み取ってください



〈パソコンの方〉

URL をパソコンで入力しアクセスしてください
<https://questant.jp/q/5XJB1UA8>

アンケート調査
ご回答期限

令和3年

1月4日(月)まで

札幌市子ども未来局

SAPPORO

アンケート調査の目的

- 皆さんの生活や、現在不安に思っていること、これまでにあった嫌な経験やその時に相談できたかどうかなどについてお聞きします。
- また、SNS やアプリなどで出会いを求める書き込みに関することについてもお聞きします。
- 皆さんの声をもとに、様々な困りごとを抱えている方や、被害に遭った又は遭う恐れのある方など、10代から20代前半の女性の方への支援の方法について、札幌市として考えていきますので、ご協力をお願いします。

回答方法

- スマートフォン、パソコンなどから表面の二次元コードか URL からアクセスしてアンケートにお答えください。
- アンケートには、**令和3年1月4日(月)**までにご回答ください。

回答にあたって

- あなたのことについて、現在や過去にあったできごとの状況について答えてください。
(一部の質問では、あなたの周囲の状況についてお聞きしています。)
- 答えたくない質問に答えていただく必要はありません。また、途中でやめることもできます。
- 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選んでください。
- 質問の答えとして当てはまる番号に○をつけてください。
- () 内に具体的な内容を入力してください。

○このアンケート調査へのご協力は任意です。

その他

- このアンケートは、石狩管内にある高等学校と高等支援学校的女子生徒の方々にご協力をお願いしております。
- アンケートに回答いただくことによって、個人が特定されることはありませんし、答えた内容を他の人に知られることもありません。

このアンケート調査は、札幌市と北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターが共同で実施し、集計業務は reward 株式会社に委託しています。

〈お問合せ先〉

札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課（担当：中村、馬場）
電話：011-211-2982（受付時間：月～金曜日〔祝日除く〕 8：45～17：15）
E-mail：kodomo.jisedai@city.sapporo.jp

市政券資料番号 02-G01-20-1854

あなたの^{こえ}声を
聞^きかせてください。



アンケート調査
ご協力^{ききょうりょく}のお願い^{ねが}

札幌市思春期・若年期の女性を対象とした意識に関する調査

アンケート回答方法

調査票に回答を記入していただき、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに送付してください。



調査票に記入



封筒に入れてのりとする



切手を貼らずに投函

アンケート調査
ご回答期限

令和3年

1月4日(月)まで

札幌市子ども未来局

SAPPORO

アンケート調査の目的

- 皆さんの生活や、現在不安に思っていること、これまでにあった嫌な経験やその時に相談できたかどうかなどについてお聞きします。
- また、SNS やアプリなどで出会いを求める書き込みに関することについてもお聞きします。
- 皆さんの声をもとに、様々な困りごとを抱えている方や、被害に遭った又は遭う恐れのある方など、10代から20代前半の女性の方への支援の方法について、札幌市として考えていきますので、ご協力をお願いします。

回答方法

- 調査票に回答を書いてください。
- 書き終わった調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、令和3年1月4日(月)までに投函してください。

回答にあたって

- あなたのことについて、現在や過去にあったできごとの状況について答えてください。
(一部の質問では、あなたの周囲の状況についてお聞きしています。)
- 答えたくない質問に答えていただく必要はありません。また、途中でやめることもできます。
- 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選んでください。
- 質問の答えとして当てはまる番号に○をつけてください。
- () 内に具体的な内容を書いてください。

○このアンケート調査へのご協力は任意です。

その他

- このアンケートは、石狩管内にある高等学校と高等支援学校の女子生徒の方々にご協力をお願いしております。
- アンケートに回答いただくことによって、個人が特定されることはありませんし、答えた内容を他の人に知られることもありません。

このアンケート調査は、札幌市と北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターが共同で実施し、集計業務はreward株式会社に委託しています。

〈お問合せ先〉

札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課(担当: 中村、馬場)

電話: 011-211-2982 (受付時間: 月~金曜日〔祝日除く〕 8:45~17:15)

E-mail: kodomo.jisedai@city.sapporo.jp

札幌市教育委員会 02-601-20-1853